



同志社クリクラブ  
第七十九回定期演奏会

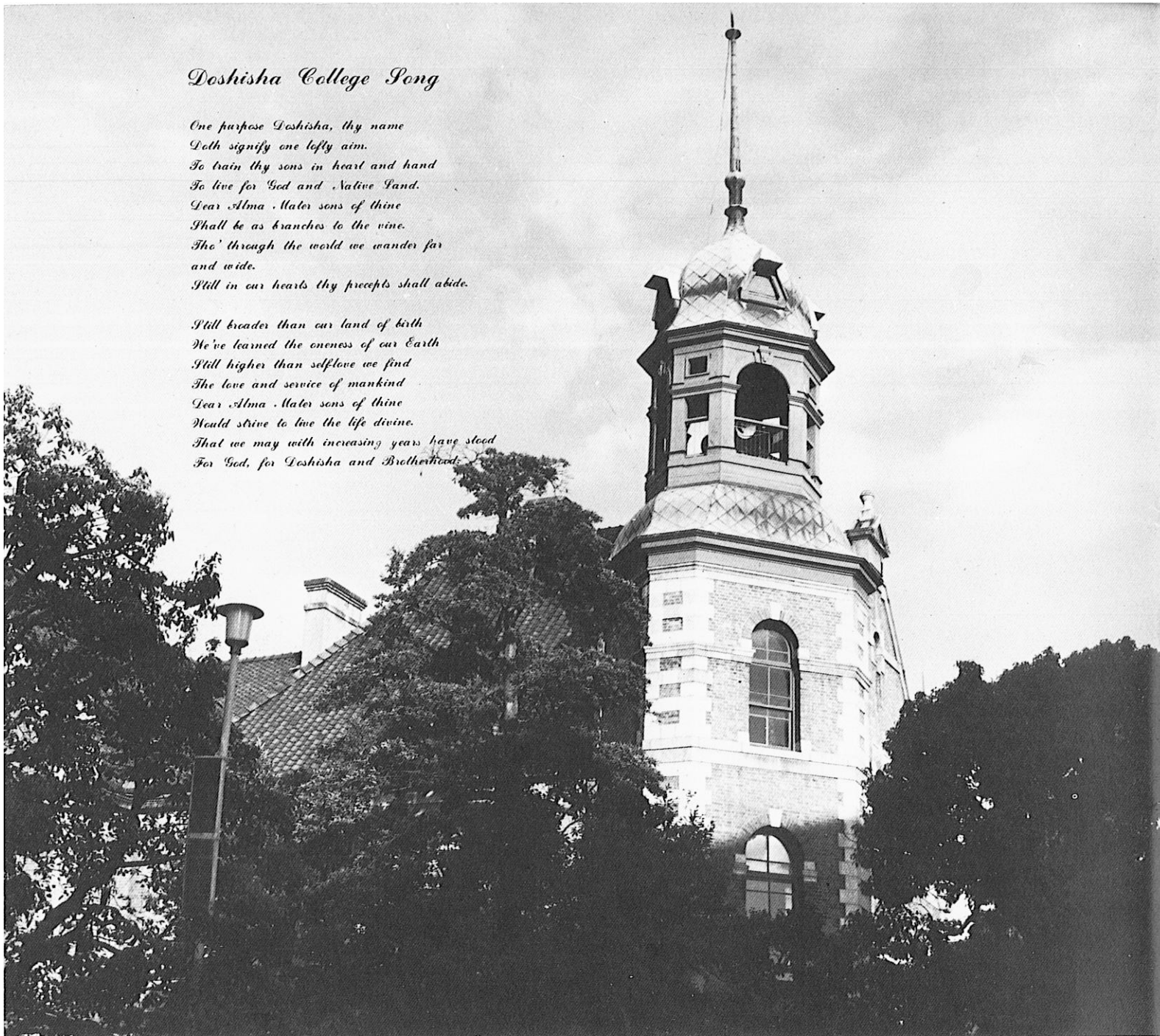




## Doshisha College Song

One purpose Doshisha, thy name  
Leth signify one lofty aim.  
To train thy sons in heart and hand  
To live for God and Native Land.  
Dear Alma Mater sons of thine  
Shall be as branches to the vine.  
Tho' through the world we wander far  
and wide.  
Still in our hearts thy precepts shall abide.

Still broader than our land of birth  
We've learned the oneness of our Earth  
Still higher than selflove we find  
The love and service of mankind  
Dear Alma Mater sons of thine  
Weald strive to live the life divine.  
That we may with increasing years have stood  
For God, for Doshisha and Brotherhood.



# 同志社グリークラブ 第79回定期演奏会

1983年12月17日(土) ザ・シンフォニーホール

## 御挨拶

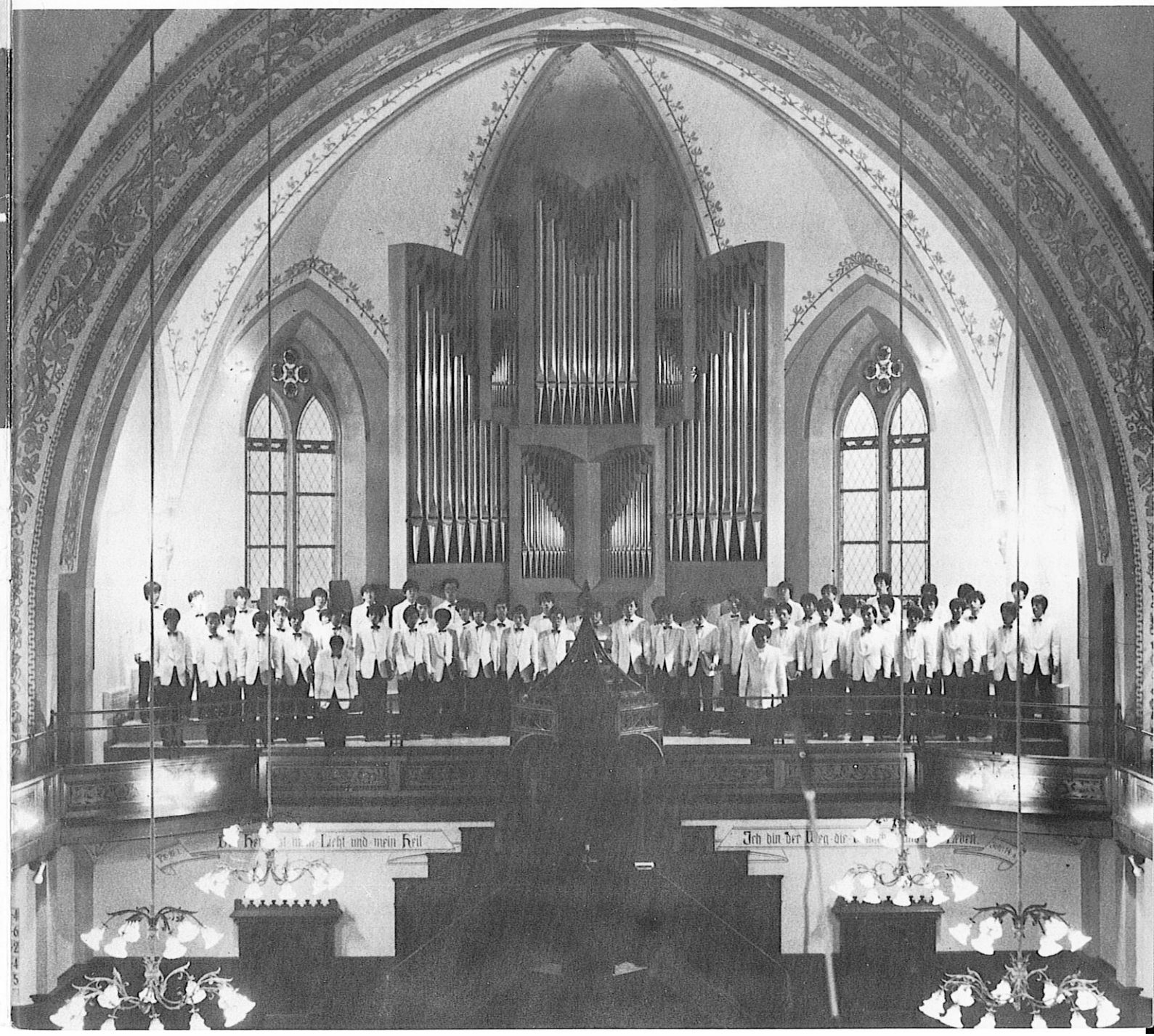
本日はお忙しいところ、私達同志社グリークラブの第79回定期演奏会にお越し下さいまして誠にありがとうございます。

今夏、私達同志社グリークラブは、長年の念願であった欧州演奏旅行を行い大盛況を得る事ができました。私達の求める「音楽」の本場である欧州の地に於て我々の音楽の真価を発揮できたことは、得難い体験であると共に、より高い音楽を求める我々の情熱を新たにするものでありました。

同志社グリーの79年の伝統の上に立って、私達は今また新しい歩みを起こそうとしています。その意味において今年には新たな一歩を踏み出す為の試練の年であるのかもしれませんが。学生団体であるが故に生じる数々の問題や例年に無いハードスケジュールに、ともすれば押し潰されそうになる私達でしたが、約90名の部員の一人一人が真正面から、それらに立ち向かい克服し、今の同志社グリーを越えた同志社グリーを目指して日々努力してまいりました。今宵のステージ、欧州演奏旅行の成果を皆様に御聴かせ致したいと思うと共に、それおも超えようとする私達グリーメンの情熱と心から溢れ出る音楽～メンタルハーモニー～が、皆様との間に尽きる事のない感動を生むことができましたなら、これに優る喜びはございません。

最後になりましたが、未熟な私達を熱心に御指導下さった諸先生方、諸先輩方、この演奏会を開催するにあたって御協力を頂きました関係各位に、心から御礼申し上げまして御挨拶とさせていただきます。

幹事長 大嶋 誠司





同志社総長 **上野直蔵**

今宵、同志社グリークラブの第79回定期演奏会が、皆さまのあたたかいご支援を得て、盛大に開催されますことを心からよろこばしく存じます。

同志社には、学生諸君がい集い豊かな情操を育むため、またより実りある学生生活を送るため、不断の精進を積んでいる音楽団体が数多くあります。その中でもわがグリークラブは70有余年もの歴史をもち、男声合唱としては抜きんでてその演奏が素晴らしく、皆さまからご好評をいただいております。演奏活動については、定期演奏会はもとより他大学の交歓演奏会、各地への演奏旅行、この夏はヨーロッパ演奏旅行を実施、スイス、オーストリア、ハンガリーで11回におよぶ演奏会を開き、宗教曲を中心に現代日本の歌、あるいは民謡をも披露するなど、国際的にも大活躍、まことに幅広く、音楽を通じて人々の心にさわやかな風を送りこむことに努力を重ねてまいりました。

今夕は合唱音楽をひたむきに愛し、この道に精進してまいりましたグリーメンが、胸ふくらませ、光を顔にたえて、日頃の練習の成果を心ゆくまで歌い、皆さまにご満足いただける演奏を披露してくれるものと信じております。

どうかご来場の皆さまにおかれましては、心耳を傾けて下さるよう、また今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

同志社グリークラブ顧問 **遠藤 彰**

同志社グリークラブの歴史もいよいよ80年に近づいた。故片桐先生（前名誉顧問）を中心に数名の音楽好きの学生が集まって合唱を始めたのは、大正デモクラシーの黎明の時期で、先生によってグリークラブと命名されたこの合唱団は自由と理想を謳歌する西欧的教養主義の波に乗って大いにその翼を伸ばした。やがて軍国主義の台頭とともに、人間精神の高貴を歌う音楽は極端な圧迫と拘束を蒙ることになり、グリークラブの活動もまたひっそくを余儀なくされた。第二次世界大戦後われわれの魂は、再びかけがえのない自由と創造のいぶきを取戻して今日にいたった。この歴史を通して、グリークラブは一貫して「新らしき歌」を歌い続けて来たことは喜ばしいことである。「新らしい歌」とは新奇な歌でもニューミュージックの類いでもなく、人間の権力や戦略や金力や心理葛藤の渦まく世界を越えた至高の世界を歌う音楽のことである。同志社グリークラブが、戦争のさなか他大学合唱団が軍歌や国民歌謡を編曲したものなどを歌っていた頃、終始変らずモテットやミサ曲を歌い続けたのは、同志社が何に目を向け、心を開き、歌声を合せていたかということを示す事実であった。

今夏同志社グリークラブは創部以来初めて欧州へ演奏旅行を試みた。かの地で得た最大の収穫は、千数百年の欧州音楽の歴史をそこに身を置いて学んだことであった。大正以来経験して来たわれわれの歴史と同じ苦悩と歓喜、人間性を越える至高者への帰依から湧き起る靈感、絶えることのない技術の練磨とそれを包みながらあたたかみゴチックの大聖堂の天井一杯にこだましつつ降り注いで来る清澄至醇の響きを、同じ人間精神の経験として味わうことができたのである。これからのグリークラブの歴史に、この経験は必ずや大きな働きをするであろうことを確信し、わけても今宵の演奏に心からの期待をよせる次第である。

関西合唱連盟理事長・音楽評論家・同志社グリークラブOB **日下部吉彦**

この《ザ・シンフォニーホール》を使った最初のアマチュア合唱団が、同志社グリーだったが、昨年12月の、そのリサイタルの大成功に力を得て、今年も、同じホールで定期演奏会を開くという。本拠地の京都をはなれ、大阪でのコンサートを2年続けてやることの意欲に、まず敬意を表したい。

今年はどこに、同志社グリーにとっては、大変な年であった。とりわけ、夏に、ヨーロッパ演奏旅行を成功させたことの意義は大きい。ウィーンその他での演奏に対する評価は高く、そのすぐあとに現地を訪れた私は、各地で、その称賛の声を聞いた。OBのひとりとして、私にはとてもうれしいことであった。その成果も、今夜のコンサートで、たっぷり聴けるものと楽しみにしている。

先月、盛岡で開かれた全日本合唱コンクールを聴いて、とくに大学の部では、混声合唱の進出が印象に残る。戦後はまず、大学グリーの男声合唱によって合唱運動の幕があき、その後、女声合唱に、主役の座を奪われた時期があったが、近年は、大編成の混声合唱団が主流となりつつある。有力な男声合唱団が、コンクールに出なくなったことにも、その原因はあるが、いずれにしろ、男声合唱ファンにとっては、いささか淋しい限り。その男声合唱界の旗頭のひとつ、同志社グリーが、もっともっと、いろんな方面に進出して活躍することを切望したい。

京都府合唱連盟理事長 **吉村信良**

同志社グリーの演奏会での大きなたのしみは、古今の名曲のみごとな編曲が、あたたかみオリジナルの男声曲のごとく立派な形で披露されることです。先日のリスト「プレリュード」がそうでしたし、今日はドヴォルザークのミサ二長調です。並みの男声合唱団では味わえない音楽的感動をいつもまじかに経験できる同志社グリーは幸せなものです。福永陽一郎先生に心から感謝せねばなりません。

その福永先生が、この夏、ヨーロッパから帰国後、ひどく体調をくずされたときはずいぶん心配しました。幸い、ずっと元気になられて、今日ステージで拝見できる……とてもうれしいことです。くれぐれもお身大切に、私たちにいい音楽を与えてください。

同志社グリーにひどくこと文句を…。ザ・シンフォニーホールはとてもすてきなホールです。でもそのはなっかえりとして、あなた方の京都での演奏の場が少なくなりました。たまには京都で定演をやってください。大変淋しがっている人間も多いはずですが、

演奏会のご成功を心からお祈りします。

同志社グリークラブOB会長 **松本寛二**

ヨーロッパ演奏旅行の報告書に、「大成功おめでとう」と書いたばかりなのに、こんどは、定期演奏会のメッセージの依頼がきた。さあ、今度は何を書こうか、といくら考えても、いつもそうだが、名文が浮ばない。

電話で、今度の定期何回目だ、と聞いたら「七十九回目です。来年は、創部八十年です。先輩よろしくお願ひします」と言った。「そうか、そんなになるのか」と、まずは答えたが、つぎに頭に浮んだのは、「来年は、大変な年になるぞ……」であった。

私のグリークラブ時代に、三十五周年記念演奏会を、あのなつかしいレンガのチャペルで開いたことを覚えているのだが、あれから早や、四十四年もたっているのだから驚きだ。当時のメンバーは、三十人足らず、そしてその大半は戦争で消えた。また、そんなメンバーで何を歌ったか、それすら忘れてしまったが、とにかく、最初には必ず、「海ゆかば」を歌わなければならない時代だった。

そのグリークラブが、いまは国内どころかアメリカ、中国、そして本場のヨーロッパまで雄飛して想像以上の成果をあげている、というのだから、これも驚きである。八十年記念、こんどはいったい何をやるんだらう、プレ・オリンピックではないが、今回の七十九回定期は、まさにその前哨戦であり、それだけに大切な定期だ。曲目も聞いたがすぐに忘れてしまった。それほど大曲づくめの定期、こんどもその大成功を祈っている。がんばって下さい。

**立教大学グリークラブ**

同志社グリークラブの皆様、第79回定期演奏会の御開催、おめでとうございます。貴団の晴れの舞台におきまして御挨拶させていただきますことは、私共にとって光栄の限りでございます。

今宵、貴団の歌声を拝聴致しますこと、先頃3年ぶりに行われました、第22回同立交歓演奏会のことを懐しく思い出すことでありましょう。思えば今夏7月、私共は、貴団の御活躍の地、京都におもむきました。私共にとっては4年ぶりの京都、右も左もわからずに、皆様の暖かい御好意におすがりするばかりでした。初夏の爽やかな空の下、歴史深き古き都にて、伝統ある同志社グリーと同じステージに立たせて頂きましたことは、この上ない喜びであり、好運かつ貴重な経験であったと、団員一同深く感謝申し上げます。

あの時の皆様の美しく力強いハーモニーを本日再び耳に出来すこともまた、好運と言うべきでありましょう。以前よりも一段とのびやかで繊細な響きが、聴く者全てを魅了することを私達は信じております。また、同志社グリーと立教グリーとの、半世紀余にわたる長き交流と固い友情を、改めて確信させてくれることを期待してやみません。

最後になりましたが、今宵の演奏会が感動の中で無事終幕し、皆様の満足に足るものとなりますことを、心よりお祈り申し上げます。

貴団の今後の益々の御活躍、御発展を、そして、貴団と私たちの友情が末長く続き、大きく広がることを……。

**早稲田大学グリークラブ**

第79回定期演奏会、おめでとうございます。

同志社グリーと言えば、まず私共の脳裏には、今年の東西四連における、あの名演「MISSA MATER PATRIS」、そしてさらに、なんどいっても「鮭組」が思い出されます。あのように“熱い音楽”を演奏することができるのは同志社グリーを除けば、日本広しと言えども他に見当たらないでしょう。特に「鮭組」は、私共の中でも大ヒットしています。いやはや、同グリは凄い。そうそう、凄いとさえ言えれば四連の打ち上げも凄かったですね。来年の大阪での対決を部員一同楽しみにしております。

それはともかく、同志社グリーは今夏、ウィーン、ザルツブルグをはじめ、クラシック音楽発祥の地であるヨーロッパへ演奏旅行なされたそうですね。部員一人一人が、ヨーロッパの空気を吸い、雰囲気を感じることができたということは、計り知れない財産となったことでしょう。そう考えますと、今宵のステージは聴衆を感動の渦に巻き込むであろうことはまちがいないさそうです。一層磨きのかかった同グリトーンがザ・シンフォニーホールいっばいに響きわたることでしょう。

福永陽一郎先生を同じく師と仰ぐ我が同志社グリーの演奏を全部員が直接に拝聴する機会が持てないのは残念ですが、来年の大阪四連での再会を期待し、今宵の演奏会の御成功と今後の限りなき御発展を、都の西北の地よりお祈り申し上げます。

**慶應義塾ワグネルソサイエティー男声合唱団**

今年もはや師走一。街はどこことなくせわしない空気に満ち、道ゆく人も気忙しい。しかし、12月こそ、合唱界にすむものにとっては黄金の季節、毎夜のように、どこかで、様々な団体の演奏会が開かれています。そして今日、いよいよ真打ちの登場一。同志社グリークラブの第79回定期演奏会が開催されます。ワグネルアン同、心よりお慶び申し上げます。

「今年の同志社はうまいなあ。」今年はいったい声が、四連や関西六連で多く聞かれたように思います。実際、今年の同志社はうまい！「80回」という記念すべき年を目前にひかえてクラブ全体が盛り上がりつつある、そんな印象をうけます。それは、クラブのスケジュールにもあらわれているようですね。私達ワグネルアンも自分達の活動の多様さ、ハードさにはかなり自信がある方ですが、今年の同志社には及びません。通常のスケジュールの他に、3年ぶりの同立交歓演奏会、アーモスト大とのジョイント、そして4ヶ国に及ぶヨーロッパ演奏旅行と、よくこれだけのスケジュールをこなしたものと驚嘆させられます。これだけのことをやり遂げた同志社グリーが、今宵、その全力を傾けて、今年の総決算である定期演奏会に挑むわけです。しかも、場所は名ホールとして名高い、ザ・シンフォニーホール……。きっとすばらしい演奏となるでしょう。

私達と同志社グリーとは、四連の仲間として、同じ長い伝統をもつ合唱団として、強い仲間意識、ライバル意識で結ばれてきました。それはこれからも変わらないでしょう。互いに切磋琢磨して、より高く、より美しい音楽を目指していきましょう。皆さん、がんばって下さい。東京の空の下より精いっぱいの声援を送ります。

**関西学院グリークラブ**

第79回同志社グリークラブ定期演奏会を開催されますことを部員一同心よりお祝い申し上げます。

貴団とは、東西四大学合唱演奏会、同関交歓演奏会、関西六大学合唱演奏会等ステージを共にする機会も多く、最も親しくお付き合いさせていただいております私共にとりまして、その存在は頼もしく、常に我々の良きライバルであり、良き友であります。

今宵のステージでは、古の都京都の落ち着いた町並みの中で育まれ続けた伝統と気品に満ちたハーモニーで、会場を埋めつくした満員の聴衆の心に深い感動を与え、きっとこの年の瀬の寒さをも忘れさせてくれることでしょう。

本日、そろって皆様の演奏を聴けますことは、この上ない喜びであり、そして、皆様の熱唱されますワンステージ、ワンステージに惜しみ無い拍手を贈れる瞬間を心待ちにしております。

DOSHISHA COLLEGE SONG

作詩 W.M. Vories  
作曲 Carl Wilhelm

I. 男声合唱組曲「わが歲月」

1. わが二月
2. 春
3. 空 谷
4. 葉月のお月
5. 十 月
6. 音立てて

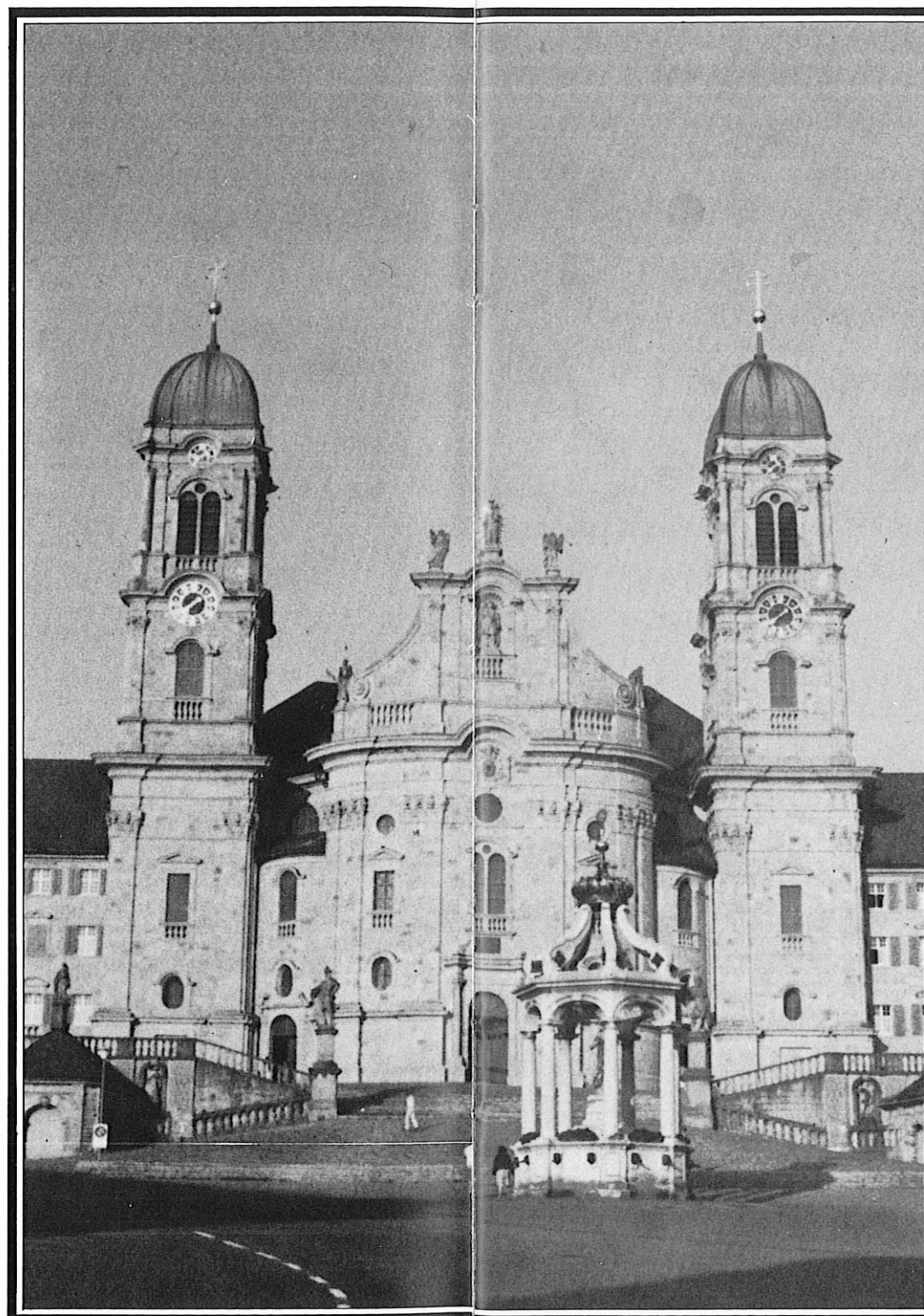
作詩 阪田寛夫  
作曲 大中 恩  
指揮 須藤彰治

II. 男声合唱組曲「花之伝言」

——男声版初演——

1. 神舞い
2. 水と風の盆
3. 土の祭事
4. 花之伝言

作詩 中村千栄子  
作・編曲 石井 歓  
指揮 富岡 健



III. 「コダーイ男声合唱曲集」より  
(全5曲)

1. HUSZT
2. KIT KÉNE ELVENNI
3. ESTI DAL
4. HEJ BÜNGÖZSDI BANDI
5. BORDAL

作曲 Kodály Zoltán  
指揮 富岡 健

—— INTERMISSION ——

IV. MASS IN D op.86

1. Kyrie
2. Gloria
3. Credo
4. Sanctus
5. Benedictus
6. Agnus Dei

作曲 Antonín Dvořák  
編曲 福永陽一郎  
指揮 福永陽一郎  
オルガン 大代 恵



## 男声合唱組曲「わが歳月」

男声合唱組曲「わが歳月」は昭和39年、同志社グリークラブ創立60周年を記念して委嘱され、同年の東西四大学合唱演奏会にて福永陽一郎氏の指揮により初演された。

作曲者、大中恩の合唱曲は、むしろ女声・混声合唱曲が有名であり、男声合唱におけるレパートリーは、あまり知られていないようである（数量的には男声合唱曲の方が女声合唱曲の数を上回っているのであるが）。このような状況のもと、この「わが歳月」は異彩を放つ秀作といえよう。合唱界においては、「古典的」とも言えるこの組曲であるが、その存在意義の重要性は、誰しも認めて疑わない事実である。

作詩者、阪田寛夫の詩は完全な象徴詩形式であり、聞くものに一瞬不可解な印象を与えるが、その意図するところの深さが、またこの組曲の成功の要因として負うところが大きい。1年の偶数月をうたった6つの詩は1・3・5曲が文語体、2・4・6曲が口語体で書かれているあたりも、よい意味で阪田が音楽を知っている証拠といえる。

さて今回、同志社グリーとしては5年ぶりにこの組曲と取り組むことになった。それも指揮は「わが歳月」と言えばこの人しかいない「福永陽一郎」ではなく、学生指揮者の手でやろうというのである。学生のみアンサンブルでは少々荷の重すぎる作品であることは周知の事実なのであるが、あえて挑戦してみることにした。練習を始めた段階でのメンバーの反応は「あまり歌っていておもしろくない曲。」という雰囲気であったが、それでも私なりの解釈を混じえ練習を重ねてきた。そこで僭越ではあるが、この紙上をお借りして、今回何故私がこの組曲を選んだのかを述べさせていだきたいと思う。

私が初めてこの組曲を知ったのは、まだ高校生だった5年前、第27回の東西四連においてであった。「ことばあそびうたⅡ（初演）」、「ジョスカン・デ・ブレ」、「三木レク」と豪華なプログラムが並ぶ中、同志社グリーは「わが歳月」を演奏した。その時私は「感動」というよりも、「印象」という音楽を体験した。演奏が終わった後、しばらく声も出ない様な感覚であったのである。

その後大学に進み、グリークラブに入部し沢山の曲を歌ってきたが、多くの合唱曲の場合、明るい表情はdurで、暗い気持ちはmollで表現した曲が大半ではなかったかと私は思う。詩人の心を、そう簡単に和音で決めてしまってもよいものであろうかという疑問はいつも頭から離れなかった。もっと音を越えた表現として合唱音楽は在らねばならないのではないかと常に感じていたのである。そこで今回、私としても最後の舞台になる訳なので、常々感じていることが発散される要素を含んだ曲、すなわち「わが歳月」を選んだのである。この曲には一般に言う合唱のテクニックは不必要であるし、曲自体がテクニックそのものを受け付けない。へたなテクニックはこの曲を殺すことになる。「本当の意味での合唱音楽とはこういうものではないか」という私なりの一つの結論をこの舞台では精一杯表現しようと思っているし、「第1ステージは、あたかも演劇を観ているようであった。」と、お一人でも感じていただければ望外の幸せである。

### 作曲者のことば

同志社グリークラブ第79回定期演奏会を心からお祝い申し上げます。今回は特に「わが歳月」が演奏されると伺い久し振りになんとか都合をつけて、みなさんの歌声に触れたい気持ちにかられます。

私と同志社との御縁は、父がグリークラブ創立のころに在籍していたこと、娘が女子大を卒業したことなどがありますが、作曲家の仕事として、同志社百周年記念祝歌を作曲させていただいたことを、そしてもうひとつ忘れられないことが、この「わが歳月」をグリークラブ60周年記念事業のひとつとして作曲したことです。振り返ってみるともう20年も前のことになるのです。そのころ私はまだ男声合唱のまとまった作品を書く機会を得なかったため、福永陽一郎氏から話を受けた時には、かなり燃えた自分を思い出します。先輩たちの練習にも出かけて聴いたり、とにかく学生諸君に新しい感覚の男声合唱を……と気負ったものです。初演の印象としては「春」「葉月のお月」「十月」が残っているのは、阪田の詩の内容からかもしれませんが――。

20年もたった今、私としてはやっぱりこの組曲は“同志社グリークラブ”のウタだと思っています。どうかいつまでも大切に育てて行って下さい。



## わが歳月

阪田寛夫

### 1. わが二月

歩みきて  
ラーメン屋台の裏露地に  
シャム猫の首ころがれり  
ひげ長き首をけとばせば  
青白き火花ばちばち  
とぶかと見えて  
かさ、とくだけぬ  
風吹き星落つ

わが二月

### 2. 春

文学士ボアン・トン  
文学士ボアン・トン  
お待ち遠さま さあ参りましよ

口笛を  
口笛色に  
ミネトンカ・トンカ・トンカ  
トンコロリン

文学士ボアン・トン  
文学士ボアン・トン  
何にもないよ もう春つきり

南京豆の  
宙返り  
ブランタン・カ・タンカ・タンカ  
タンコロリン

文学士ボアン・トン  
文学士ボアン・トン  
きみの靴の下 たんぼぼが死んでる

### 3. 空谷

一しめやかな五月は去り  
はや六月一潮は満ち、  
河辺に寄せる漣に  
業深き地球の、今なお  
廻りつゝあるを知る  
ビルに棲む処女たちの白き腕は  
余命なき夏の蝶  
電線をゆすぶり 遠き山をゆすぶり  
自らの重みに屈しつゝ  
満員電車は走る  
あわれ六月の都大路は砂漠にて  
処女の腋毛は死せる草  
象たちよ  
隊伍を組みめて空谷を歩め  
犀歩め

### 4. 葉月のお月

こんやは二時間も待ったに  
なんで来てくれなんだのか  
おれはほんまにつらい  
あんまりつらいから  
関西線にとびこんで死にたいわ  
そやけどあんたをうらみはせんで  
あんたはやさしいて  
ええひとやから  
ころしたりせえへん  
死ぬのんはわしの方や  
あんたは心がまっすぐして  
おれは大まがり  
さりながら  
わいのむねに穴あいて  
風がすかすか抜けよんねん  
つべとうて  
くるしいて  
まるでろうやにほりこまれて  
電気ばちんと消されたみたいや  
ほんまに切ない、お月さん  
一お月さん、やて  
あほうなことを云いました  
さいなら、わしゃもうあかへん  
死んでおれへん  
電車がええのや  
ガーッときたらギョキッと首がこんころぶわ  
そやけども  
むかしから  
女に二時間待たされたからて  
死んだ男がおるやろか  
それを思うとはずかしい

### 5. 十月

十月に生まれし者は 幸なるかな  
そのひとは 空を見ん  
  
十月に生まれし者は 幸なるかな  
そのひとは 悲しみを得ん  
  
十月に生まれし者は……

### 6. 音立てて

音を立てて、  
今年が崩れて行く  
もうあと少しで  
のぼりつめるところだったのに――  
月と日が崩れ  
明日と昨日が崩れ  
がらがらと音立て、崩れ  
瓦礫の街を  
おれは走る  
走る



男声合唱組曲 「花之伝言」

この曲は、元来は混声合唱曲で、1981年に昭和56年度文化庁芸術祭合唱部門参加作品として、NHK名古屋の委嘱により作曲されたものである。同年の芸術祭優秀賞を受賞した。初演は、作曲家指揮のノイエ・ゲブルトによって、1981年11月13日にNHKのFM放送によって行われた。

作曲者の言によると『詩人の中村千栄子さんとNHKのスタッフが、数日にわたって町から村へ祭をもとめて中部地方を旅し、数多い各地方の祭りの中から六つを選んで構成したものだ』という。その六つとは、1. 岐阜県根尾村、能郷白山神社につたわる「能狂言」。2. 石川県白峰山の「神迎（かんこ）踊り」。3. 岐阜、郡山八幡の「郡上（くじょう）踊り」。4. 富山県、越中八尾（やつお）の「越中おわら」（風の盆）。5. 愛知県北設楽郡の「花祭り」。6. 岐阜県飛騨古川町の「越し太鼓」である。それらが祭事を素材としながら、作者は、「舞い」＝四月、「水と風の盆」＝七月と九月、「土の祭事」＝十二月というふうに、季節感を強調して再構成し、春＝淡墨桜、夏＝盆祭り、晩秋＝豊年祭り、という具合に続けてきた後、『再びめぐり来る春、御母衣（みほろ）タムの底に眠る村から蘇った庄川の桜にも似た、人間の生命の輪廻と、日本の失われてゆく美しい故里の自然と祭りの魂を、日本人の心の花、桜にこと寄せて、現代の祭り唄として表現』された第4楽章で結ぶ。この作曲者ならではの、雄大な構想であると言える。

作曲者はまた、これを『美しい日本人の詩である。人の心を詩（うた）ったこの詩を、日本人の音感を大切にしながら作曲した』ものであるとも言っているが、たしかに能の掛け声を模倣した音型などがあるにはあるが、全体としては、ごく通常の西洋調性音楽で、日本風なところがあるとすれば、ほかならぬ作曲者自身がまぎれも無い日本人であることの証明であろう。

この作品は、1982年8月、ベルギーのナミュール市で開催された〔世界合唱連合〕の発会式に記念コンサートにおいて、神戸中央合唱団によって演奏され、多大の感銘を与えた。同合唱団によるレコードも発売されている。以下、いささか私事にわたるが、私（福永）自身、この曲が出版される前に楽譜を入手して、実はおなじ1982年に行われた法政大学アカデミー合唱団のヨーロッパ演奏旅行のレハートリーに組み入れるつもりであったのだが、さきに述べたいきさつが絡んで、その時点でのヨーロッパでの演奏を遠慮するように作曲者から要請されてあきらめたという事情があった。さらに帰国後、私の監修する東芝レコードの「現代合唱曲シリーズ」に組み入れて、私の指揮で録音する計画が立てられたが、演奏する合唱団のスケジュールの調整に手間取っているうちに、他社から神戸中央合唱団のレコードが発売されてしまい、おくれを取った結果になった。そのとき、作曲者のほうで男声合唱版を製作したいという気持ちが強いという話が耳に入り、早速、自分の関係する団体で初演とレコーディングをやりたいと考えた私は、たまたま同志社グリーのウィーンでのコンサートを聴きにいられた作曲者に、この合唱団で初演するという許諾を得たのであった。私の健康上の理由もあって、実際の初演奏は、富岡健君の指揮でおこなわれることになった。男声合唱版の作曲完成は、1983年の8月である。

福永陽一郎

初演に寄せる

新曲を演奏することの困難さは、経験したものでなくてはわからないことであります。

今日、同志社グリークラブが取りあげてくれた「花之伝言」はかつて混声合唱で初演された作品ではありますが、男声に変えられて演奏されるのは今回が初めてであります。

たとえ、それがひとつの曲であったとしても、混声合唱曲と男声合唱曲とでは、ただ音域が異なるという問題ではなくて音楽の世界が異なると思います。

今度、同志社グリーが演奏してくれる「花之伝言」は新鮮な息吹をもった「花之伝言」を私共に提供してくれることを期待してうれしく思っております。

この作品の作曲意図は在来にない男声合唱の世界を開発したのであります。そのひとつは音楽的処理として遅い部分と速い部分、柔らかな部分と固い部分との対比、これらの対比を最も簡明にそして強烈にすることによって新しい男声合唱の世界を作りたいと思ったのです。したがって、あたかも真っ白い大根を鋭利な包丁で両断するがときドライな感覚で処理をしてもらいたいものだと思っております。

富岡健さんによる、卓越した音楽構成法に基づいた素晴らしい男声合唱曲としての「花之伝言」が誕生することを楽しみにしております。

石井 敏

花之伝言 ～中部地方の祭事による～

中村千栄子 作詩

1. 神舞い

イヨー  
根尾に 花咲く  
青き嶽を 背に  
淡墨の桜は  
大なる幹の枝ごとに

イヨー  
産土の神を招き  
神ともどもに  
二人大名 花見の宴

ウ ウ ウ オウ  
桜月夜に小面のひと  
翁も そろりと現われて  
能郷の里に  
遅い春 待ちかねて  
神と ひとつに 舞うて候

2. 水と風の盆

だくだくと  
白き峰より 駆けおるる  
水の勢い 恵みの瀬音  
向いの山に 光るものは  
なんじゃいな  
お月か 星か 螢の虫か  
（——加賀白山 神迎踊りより）

迫る山に 区切られた空の下  
たおやかな郡上の町並み  
涼やかに謳う川面に  
健やかな 夏の笑い  
ヨーホイ 猫の子がよかる  
猫であわせ コラ 鼠とる  
（——郡上八幡 猫の子より）

夜が深い 祭りの果ての  
越中八尾の 街から露地へ

風の見たもの

古い石垣の坂道に  
幼なじみの組踊り  
編笠のかげの  
びんのほつれに  
ときめきの しずく

ほっ と 止む 胡弓の音

星影こぼれる 草むらに  
虫の語らい  
うたわれよ わしやはやす  
どっこいしょ  
どっこいしょ  
（——越中おわらより）

3. 土の祭事

テホヘホヘ テホヘホヘ  
いね いね 生命の根よ  
今年も 確かな 花開け

テホヘホヘ テホヘホヘ  
ばんばん燃えろ  
聖なるかがり火  
じんじん 湯けむり  
ざんざん 湯たぶさ

テホヘホヘ テホヘホヘ  
夜通し 囃せ 胸にあること  
テホヘ テホヘホヘ

天から真白い雪華が  
ざざち 飾った 花宿に  
地には へんべい 踏んで  
鬼の舞  
（——奥三河 花祭りより）

めでた めでたの若松さまよ  
枝も栄ゆる 葉も茂る  
ついたとて 何としようぞ  
ぜんぜのこ まんまのこ  
（——飛騨古川 ぜんぜの子より）

ザッサッサッサッ  
脈打て 遠い祖先の心の鼓動  
起せよ 大地の眼に  
起せよ 祖先の祈り  
起せよ 心の鼓動  
打て 打て 打てよ  
脈打て 祖先の鼓動  
脈打て 男の胸に  
ザッサッサッサッ  
打てよ 打て 打てよ

燃えあがれ 火の河  
ザッサッサッサッ  
若い男の 裸の祈り  
ハッ

4. 花之伝言

ふきのとう  
かたくりの花  
冬ごもり  
春は めぐる日に  
ふたたびの 光の季節に

散る 散る 花が 散る  
心のかたちの 花が 散る

帰ろうよ 魂たちよ  
湖のなかに眠る村  
遠い日の 面影はるかに

散る 散る 花が 散る  
心のなかにも 花が 散る

忘れ得ぬ ふるさと  
遠い日の 花之伝言  
祭りのふるさとよ  
心のふるさとよ

ふるさとよ



## コダーイ男声合唱曲

チューリッヒからボクたちをのせた寝台列車ウィナーワルツ号が一昼夜走りつづけて、ハンガリー国境にさしかかったとき、空の色から豹変し、重苦しい霧団気にあたりが制されているように感じたのでした。迷彩色の服に黒く鈍く光るライフルをもった国境を警備する軍人たち、そして表情一つくずさずなくパスポートを見入るイミグレーションの検査官たち。否応なしに、ボクたちは、主義主張の全く異った国に身をおいてしまったことを知らされたのです。国境を越え首都ブタペストに向かう車窓からは、広大な農場がながめられるばかり。そしてボツン、ボツンと忘れられたように置かれていた土壁の、それもくずれかけた農民の家屋。ヨーロッパの幾たびの戦さの中で何度も異民族に征服された民は、ただひっそりと無抵抗に生きていく術を身に付けてしまったのかしら、と思わせるほどなんの飾りつけもないモノトーンの風景がいつまでもいつまでも続いていました。そして次第にボクは、ボクたちが用意したレパートリーの一つであるコダーイの作品を演奏することに不安を覚えてきたのです。

コダーイを生んだこの大地は、あまりにもボクたちのそれと違いすぎていました。おまけに、ボクたちが練習してきたコダーイの曲は、コミカルなものではなく、シリアスなもの詩をもつ曲だったので。いくらコダーイが今やインターナショナルな作曲家だからといっても、彼のシリアスな作品を彼らの言語マジャー語で歌う異国人をみて、ハンガリーの人々は嫌悪感をもちたしはないだろうか。ドイツ語圏でシューベルトやブラームスを演奏してあるいてもそれは許容の範囲であるにしても、過去も現在もボクたちと共有するものがほとんどない生活様式の国で、異国人が歌うハンガリーの民の歌に、聴衆は反感をもたないだろうか。そんな心配が起きるほど、ハンガリーの風景はボクたちを寄せつけなかったのです。

ブタペストはヨーロッパの大都市と同じように近代的なよく整った町でしたが、残念ながらボクの不安を取り除いてはくれませんでした。ボクたちが案内されたヴィガドと呼ばれたホールは、普段国立民族舞踊団が使用するらしく、反響板の設備もなければ残響も皆無に等しく、全く音楽的な配慮に欠けたところでした。そして、そこでいよいよコダーイの練習をする時がやってきたのです。指揮台に登る前に、英語を解する通訳女史に「もし、ボクたちが発音上の大きなミスをしていたら、遠慮せずに教えてくれ」とたのみ、グリーメンの前に立ちました。するとどうでしょう。数小節も進まないうちに、ボクたちのコダーイは、ハンガリーの空気にすっかり溶けこむてはありませんか。ボクたちが見た国境附近の景色とコダーイの音とがボクたちの体の中で共鳴するのです。通訳もすっかりボクたちの演奏に感激してくれて「Excellent! Wonderful!」の連続。彼女が注意してくれた発音上の問題もたった一語だけだったということも手伝って、ボクは安心してコンサートの時を待つことができました。

演奏会は、あの社会主義特有の手拍子が熱狂的に続くうちに幕を降ろすことができました。ハンガリー合唱連盟の役員からも、コダーイの演奏におほめの言葉をいただいたうえに、コダーイインスチュートでの研究を熱心に勧めていただき、音楽は、民族を越えてお互いにコミュニケーションできることを経験できたのは貴重なことでした。

ヨーロッパ旅行を記念するような曲目を定演で取り上げて欲しいという現役のみんなの要請があったこともあり、躊躇することなくコダーイ第二集を組んで昨年に引き続き彼の作品を演奏することに決めました。ハンガリーの空気を吸いとってきたグリーメンとコダーイの作品を演奏できることをとてもうれしく思っています。

**Huszt** —The Ruins— (1936) 廃墟とも訳せるこの詩には、ハンガリーの国民的詩人 Kólcsey によるもののテキストに基づいて、コダーイは、模倣の技法を駆使し、ソロとトゥッティの対照、力強い響きを取り入れている。

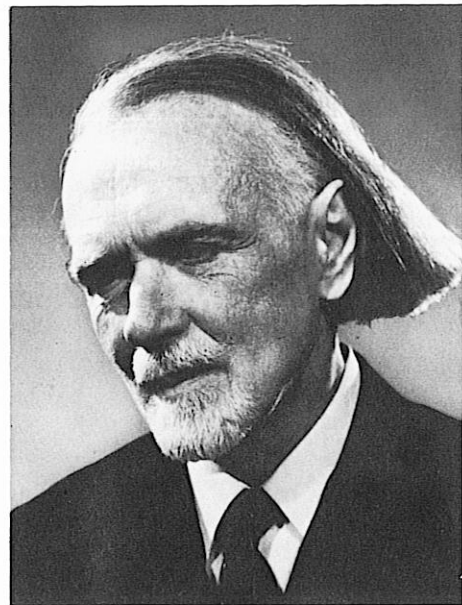
**Kit Kéne Elvenni** (1934) わずか四小節のテーマが「ハイ・ハイ」というかけごえをはさんで何度も表われる。これも民謡からの編曲で、結婚適齢期の男のお嫁さん選びを歌ったもの。

**Esti dal** —Evening Song— (1938) 三節からなる民謡を題材にした曲。やわらかなハーモニーが静かで魅力的な霧団気をつくっている。押えめのダイナミクスが印象的。

**Hej, Büngözsdi Bandi** (1947) Petöfi の詩に作曲されたコダーイ後期の作品の一つ。魅力的な色彩感ともなって、バリトンの独唱も加わり、無法者として捕われた男が描写されている。

**Bordal** —Drinking Song— (1913) コダーイが初めて男声合唱のために作曲した作品。独立戦争前の重苦しい霧団気とほのかな希望をうたった Kólcsey の詩に、彼は、第一次世界大戦勃発直前、曲をつけている。

富岡 健



KODÁLY ZOLTÁN



ブタペスト・ヴィガドにて

### I. HUSZT (廃墟にて)

悲しくも 崩れ去りし  
フーストの城跡に 我佇む  
静けさ 周囲に満ち  
夜の月 雲の涯から昇らむ  
今や風はすすり泣き  
会堂の柱間に亡者の影漂い出て  
彼方に手招きかく言う  
「祖国を愛する者よ  
かく荒れにし国に何をば望む  
過ぎし日々を思うのに  
いかばかりの甲斐あらん  
未だ見ぬ先へと  
今から備えを始めるべし  
行わん 創らん 力もて  
かくて 祖国に灯は点るのだ。」

### II. KIT KÉNE ELVENNI (誰を嫁御に)

旅に出て 嫁さんをもらおう!  
けれども 問題が1つある。  
誰をもらえば良いのやら、う〜ん?  
若い娘をもらうなら  
彼女機も織れりやせぬ  
それじゃ少々恥しい  
話すことは金ばかり!  
年増女をもらうなら  
日かな辛いことばかり  
まるで雷轟くがごとく  
貧乏娘をもらうなら  
二人も乞食ができちまう!  
(この俺いらだって素寒貧)  
金持ち女をもらうなら  
「私のおかげで生きている  
この能なしのガラクタ男の犬野郎!」  
なんて言われちまう  
神様 神様 結婚よりも  
意地を張ってでも一人で居るのが良いものか  
たとえ一人であろうとも  
これから先も俺らには  
望み絶ゆることなきように

### III. ESTI DAL

森のほとりに途方に暮れて  
私は、頭を垂れていた

だが我が両の手は  
神により大きに購われた  
主は私に道を示し  
私は既に軽やかな歩みを得てさえた  
異郷の地に生計をもち はや幾年  
来し方は遥かになり  
願わくば我が主よ  
聖天使をば我に遣わしめ  
安けき夜よ与えよ  
魂に勇み与え  
良き夢を持たらすがため

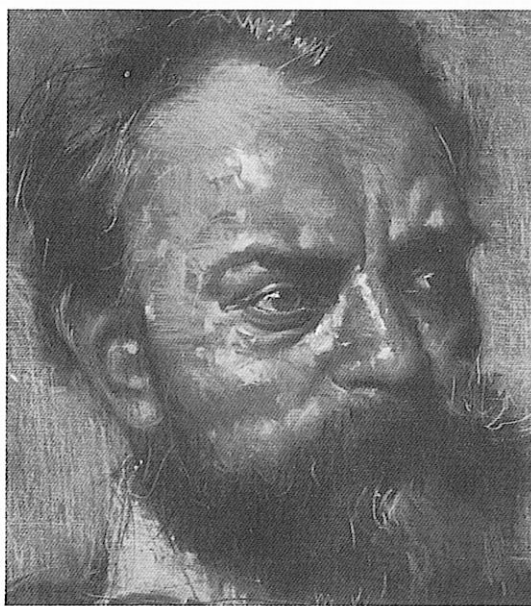
### IV. HEJ BÜNGÖZSDI BANDIは省略

### V. BORDAL (乾杯の歌)

乾杯!晴天に 乾杯!くもり空に  
機嫌が良からうと また悪からうと  
美酒は 人生を朗らかに力づかせる  
美酒を飲む時は遠く離れたおまえとも  
楽しく時を過ごせよう  
凡そ浮世は 塵 夢 煙  
幸せな友の知らせが  
一体何となるべきや?  
朝に鼓が戦を告げては  
流されし血がうねり川を成す  
またあるいは  
暴動 そして悲しみがおまえを苦しめ  
疑い期待の間でめくらむのだ  
いかほどの時を  
ちぢこまった人生に苦しんでおればよいのか  
日々感謝して  
未来へと生きてゆくのだ  
早朝であろうが 風の中であろうが  
また 静穏の中であろうと  
さだめられた運命はおまえにやってくる  
あたかも  
夏が来 冬が来る如く  
曇って来たらば傘を捜せ  
どちらに向うべきか迷う時は我慢せよ  
風でさえ 退くことがある  
現在を生きるのだ!  
酒は良くも悪くも我々の中を駆け抜けて  
そしてウインクしてみせる  
どっちにしてもたかが人生  
良い事ばかりがある方が  
良いに決まっている



# MASS IN D op.86



Antonín Dvořák

ボヘミア（旧オーストリー・ハンガリー帝国、現チェコスロヴァキア）が生んだ最大の作曲家であるアントニン・ドヴォルザーク（1841～1904）には、三曲の重要な宗教音楽作品がある。第一に「スターバト・マーテル」、第二に「レクイエム」、それに今回演奏される「ミサ 二長調」である。このミサ曲は、1887年、ドヴォルザークが46歳のときに作曲された。その時点で、この曲はオルガンだけの伴奏によって書かれていたが、5年後、オルガンをもふくむオーケストラ伴奏の版が、改めて作曲され、イギリス・ロンドンのノヴェロ社から出版された。現在、通常演奏されるのは、この1893年3月11日にロンドンの水晶宮（クリスリル・ハレス）で初演されたオーケストラ版のほうである。

オリジナルのオルガン伴奏版は、チェコ科学芸術アカデミーの創立者であり初代院長でもあったドヴォルザークの友人、ヨゼフ・フラウヴカの注文で、前記のように1887年、くわしくは同年3月26日から4月14日までの19日間で、一気に書き下ろされた作品である。フラウヴカはまた、熱心な音楽愛好家で、フラハ合唱協会の指揮者でもあった。したがって初演は、フラウヴカの邸宅の礼拝堂の献堂式に際してドヴォルザーク自身の指揮、彼の妻のアンナ（アルト）やフラウヴカの妻ズデンカ（ソプラノ）などをソリストとして行われた。ドヴォルザークはフラウヴカに『この曲は、偉大なる神に対する信仰と希望と愛、と題してもよいでしょう。永遠なる者の栄光と我々の芸術の名誉のためにこの作品を書くことができるのを、私は心から感謝しています。私が深く敬けんであることに驚かないで下さい。信仰深い芸術家でなければ、このような種類の音楽は書けません。バッハやベートーヴェンやラファエロその他の巨匠が、実例を以って私のこの考えを支持しています』と書いた手紙を送っている。

声楽部はS、A、T、B、の独唱（重唱）と混声合唱でカトリック教会のミサ通常文に忠実に従って作曲されている。男声合唱のための編曲は、1975年にノヴェロ版のピアノ・スコアに基づいて為され、同志社グリークラブの同年の定期演奏会でピアノ伴奏で演奏された。今回の演奏は、オーケストラ版に基づくオルガン伴奏譜（アロイス・マリヤ・ミュラー編曲、1963年、ザールブリュッケンのロバート・カール音楽出版社）によるパイプ・オルガン演奏を伴って行われるが、同時に、1978年にシュトゥットガルトのカールス社から出版された1887年のオリジナル・オルガン版に基づくクリティック・エディションを参考にした改訂も合わせて行った。ノヴェロのオーケストラ版（およびそのピアノ・スコア）とオリジナルの相互間に、少なからぬ異同があり、いずれがドヴォルザークの最終の意志であるかの判断は容易ではないが、明らかなノヴェロ版のミス・プリントも、いくつか発見できた。カールス社のオルガン編曲譜も、カールス社の新版も、昨年と今年のヨーロッパ旅行の収穫である。

福永陽一郎

## KYRIE

Kyrie eleison.  
Christe eleison.  
Kyrie eleison.

## あわれみの讃歌

主よ、あわれみたまえ。  
キリストよ、あわれみたまえ。  
主よ、あわれみたまえ。

## GLORIA

Gloria in excelsis Deo.  
Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.  
Laudamus te. Benedicimus te. Adoramus te. Glorificamus te.  
Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.  
Domine Deus, Rex coelestis, Deus Pater omnipotens.  
Domine Fili unigenite, Jesu Christe.  
Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.  
Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.  
Qui tollis peccata mundi, suscipe deprecationem nostram.  
Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.  
Quoniam tu solus sanctus. Tu solus Dominus. Tu solus Altissimus, Jesu Christe.  
Cum Sancto Spiritu in gloria Dei Patris. Amen.

## 栄光の讃歌

天のいと高きところには、神に栄光、地には、善意の人に平和あれ。われら主をほめ、主をたたえ、主をおがみ、主をあがめ、主のたいなる栄光のゆえに、感謝したてまつる。神なる主、天の王、全能の父なる神よ。

主なる御ひとり子、イエズス・キリストよ。神なる主、神の小羊、父のみ子よ。世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。世の罪を除きたもう主よ、われらの願いをききいれたまえ。父の右に坐したもう主よ、われらをあわれみたまえ。

主のみ聖なり、主のみ王なり、主のみいと高し、イエズス・キリストよ。聖霊とともに、父なる神の栄光のうち。アーメン。

## CREDO

Credo in unum Deum,  
Patrem omnipotentem, factorem coeli et terrae,  
visibilium omnium, et invisibilium.  
Et in unum Dominum Jesum Christum, Filium Dei unigenitum.  
Et ex Patre natum ante omnia saecula.  
Deum de Deo, lumen de lumine, Deum verum de Deo vero.  
Genitum, non factum, consubstantialem Patri: per quem omnia facta sunt.  
Qui propter nos homines, et propter nostram salutem descendit de coelis.  
Et incarnatus est de Spiritu Sancto ex Maria Virgine:  
Et homo factus est.  
Crucifixus etiam pro nobis: sub Pontio Pilato passus,  
et sepultus est.  
Et resurrexit tertia die, secundum Scripturas.  
Et ascendit in coelum: sedet ad dexteram Patris.  
Et iterum venturus est cum gloria judicare vivos et mortuos: cujus regni non erit finis.  
Et in Spiritum Sanctum, Dominum, et vivificantem: qui ex Patre Filioque procedit.  
Qui cum Patre et Filio simul adoratur, et conglorificatur: qui locutus est per Prophetas.  
Et unam sanctam catholicam et apostolicam Ecclesiam.  
Confiteor unum baptisma in remissionem peccatorum.  
Et expecto resurrectionem mortuorum.  
Et vitam venturi saeculi. Amen.

## 信仰宣言

われは信ず、唯一の神、全能の父、天と地、見ゆるもの、見ざるもの、すべての造り主を。  
われは信ず、唯一の神の御ひとり子・イエズス・キリストを。主は、よるず世のさきに、父より生まれ、神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、造られずして生まれ、父と一体なり、すべては主によりて造られたり。

主は、われら人類のため、またわれらの救いのために、天よりくだり、聖霊によりて、処女マリアより御からだを受け、人となりたまえり。ポンテオ・ピラトのもとにて、われらのために十字架につけられ、苦しみをうけ、葬られたまえり。

聖書にありしごとく、三日目によみがえり、天にのぼりて、父の右に坐したもう。主は、栄光のうちによりて再び来たり、生ける人と死せる人とを裁きたもう、主の国は終わることなし。

われは信ず、主なる聖霊・生命の与えぬしを、聖霊は、父と子とよりいで、父と子とともに拝みあがめられ、また予言者によりて語りたまえり。われは、一・聖・公・使徒継承の教会を信じ、罪のゆるしのためなる唯一の洗礼をみとめ、死者のよみがえりと、来世の生命とを待ち望む。アーメン

## SANCTUS

Sanctus, Sanctus, Sanctus, Dominus Deus Sabaoth.  
Pleni sunt coeli et terra gloria tua.  
Hosanna in excelsis.

## 感謝の讃歌

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主。主の栄光は天地にみつ。天のいと高きところにホザンナ。

## BENEDICTUS

Benedictus qui venit in nomine Domini.  
Hosanna in excelsis.

## 祝福の讃歌

ほむべきかな、主の名によりて来たる者。天のいと高きところにホザンナ。

## AGNUS DEI

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi: miserere nobis.  
Agnus Dei, qui tollis peccata mundi: miserere nobis.  
Agnus Dei, qui tollis peccata mundi: dona nobis pacem.

## 平和の讃歌

世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。  
世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。  
世の罪を除きたもう主よ、われらに平安を与えたまえ。





同志社グリーンクラブ技術顧問  
福永陽一郎

1926年神戸に生まれる。東京音楽学校(現・芸大)本科ピアノ科出身。井口基成、豊増昇氏にピアノを師事。在学中より東宝交響楽団(現・東響)で近衛秀磨氏の助手をつとめ、同氏に作曲法、指揮法、管弦楽法を師事。M・グリット氏にオペラ指揮法を師事。1951年藤原歌劇団に入団、同団常任指揮者として'65年まで活躍。その間同団第三次渡米公演に同行。また'59・'61・'63・'71年のNHKイタリア・オペラ来日公演に際しては、日本側代表指揮者として参加、副指揮・合唱指揮をつとめる。歌劇指揮者として広くその名を知られる一方、合唱界においても、'52年畑中良輔氏と共に東京コリアーズを設立し日本最高のプロ合唱団に育て、またアマチュア・コーラスを30年にわたり積極

的に指導。又、評論活動も多くの人々から注目され、著書に「演奏の時代」(紀伊国屋書店)、「私のレコード棚から」(音楽之友社)がある。合唱用の編曲も数百曲にも及ぶ。早稲田グリーン、法政アカデミー、同志社グリーン他、多くの合唱団を指揮する一方、藤沢市民交響楽団の常任指揮者をつとめ、'80年の藤沢市民オペラ「カルメン」の上演は多大な反響を呼んだ。また、'83年10月9・10日に藤沢市民オペラ「ウイリアム・テル」(本邦初演)を指揮するなど多忙な身である。

今夏、同志社グリーンクラブ欧州演奏旅行に同行。1979年ウィーン世界青少年音楽国際合唱コンクール審査員。

『音を立てて……』  
「音を立てて、今年が崩れて行く」今年の定期演奏会のレパートリーにも入っている大中原さんの「わが歳月」の終曲の出だしの歌詞である。年の終わりに当たっての青春期の挫折感を切実にうたったのは、まだ若い日の、のちの芥川賞受賞作家の阪田寛夫さんである。『もうあと少し昇りつめるどころだったのに……』私のような年齢の者は勿論のこと、グリーンメンの諸君の齢でも、このような感慨を持った経験が無いとは言えない。同志社グリーンクラブの定期演奏会の指揮をすること二十数回、何度、この未到達の悔しさを味わったことだろう。完全無欠の演奏というのは、結局は不可能事だとしても、やはり一年の締め括りとしての定期演奏会を、何らかの充足感を持って過し終わりたいと念願すること切なるものがあるのに、なかなかうまく行かない。『もう少しだったのに……』。

今年のグリーンクラブはどんなだろう。ここ数年のうちでは、もっとも充実と安定が強く感じられた年であったことは間違いない。東西四大学でのルネッサンスのポリフォニー・ミサの演奏は、自分たちの満足度も高く、同時に、周囲の反応も、その完成度の高さにほとんど驚倒しているかに受け取れた。また、ヨーロッパ演奏旅行の後の大阪でのコンサートに出演したのを聴いた浅井敬堂君—グリーンクラブの先輩だが、むしろ今や日本の第一線に立つ合唱指揮者—からは、ヨーロッパで身に着けた音楽力の所為か、声の響きが上へ上へと伸びてゆくと評された。私はこの秋の関西六大学の会で、久しぶりに客席から同志社グリーンの演奏を聴いたが、たしかに一つの音楽を演出してゆく自力というものを持ち得ているという意味で、抜群だと思った。これは身びいきで言うのではない。私は、その日の演奏に欠点が無かったなどと言うつもりはないし、また9月に行われたレコーディングの指揮をした北村協一氏から指摘された弱点も、そのとおりだと思う。なおかつ今年のグリーンには、並ずくれた長所が有ると言うべきだと考えているのである。

今年の定演で、その長所をどれだけ発揮できるか、欠点をどれだけ克服できるか。『崩れた瓦れきの街を走る』ことに厳しのかどうか。私たちの道はきわめて厳しいが、その厳しさを乗り越えて楽しさに変換できたとき、音楽の女神は微笑むであろう。

『ヨーロッパとその直後』  
7月下旬から2週間の日程で、同志社グリーンクラブのヨーロッパ演奏旅行に同行いたしました。西洋音楽を生み、育ててきたヨーロッパ各地を歴訪し、私達が普段勉強している西洋音楽を演奏してきました。ウィーンの中央墓地のモーツァルトの記念碑の前でのアヴェ・ヴェルム・コルプス、リンツ郊外の聖フローリアン教会でのブルックナーのルックス・イステなどを演奏していると、これらの大作曲家がずいぶん私達の身近な存在になってしまうのです。また寝食をともにすることによってグリーンのメンバーと普段以上に親しくなれたのも大きな収穫でした。最終日に近づくにつれて、私もほとんど全員の名前と顔を暗記するまでになったのですが、早くもあれから4ヶ月すぎた今、それもずいぶん怪しくなってしまう、つくづく自分の記憶力の低下を嘆く始末です。

楽しかったヨーロッパの旅行の余韻から、まだ覚めやらぬうちに、突然、福永先生が入院なさった、というニュースがどびこんできたのは、本当に驚いてしまいました。今だから言えるのですが、私のまわりには、ひどく悲観的な情報が乱れとんで、中にはこのまま天に召される、という人があらわれるにいたっては、私の方が病気になるほどでした。10月には今年の先生のメインのお仕事でもあるウイリアム・テルのオペラ全幕が日本で初めて上演されることになっ

ていたのですが、周囲の制止を振りきって、先生が予定通り指揮されると決定された時は、正直私も不安で胸がつかまる思いでした。これが先生を見る最後か、などという不逞な思いをいだきながら新幹線にのりこみ、ホールについてみると、なんと先生がオケピットの中央で、オケに仕上げの練習をなさっているではありませんか。それも普段どなにひとつ変わらないお姿で。ただ楽屋に運びこまれていた担架が現実をものがたり、妙に不気味でした。4時間も長い上演を終えられ、カーテンコールで先生の姿を拝見したときには、どめどもなくあふれる涙で顔がぐしゃぐしゃになってしまいました。先生の音楽に対する情熱、そんな甘っちょろいものは通りすぎて、音楽は命をかけてするもの、という声がかきこえたのです。私は私のプロフィールに福永先生に師事とは書いていません。事実、先生は私に指揮法などというのを教えてくださったことにはないのですから。しかし私も同志社グリーンも実に恐ろしい先生についてしまったのです。自らの体をもって、音楽をする姿勢と、男のいきざまを教えこむのですから。先生が病氣してくれたおかげで(?)で、私には2ついいことがありました。六連の下げいこを通じて親しい仲間が増えたこと。そして今日の定期の男声版「花之伝言」の初演という機会に恵まれたことです。福永先生を再び病床に戻すことだけはしたくないので、初演にふさわしい演奏を、と心に命じているしだいです。



同志社グリーンクラブ指揮者  
富岡 健

昭和49年3月、同志社大学法学部卒業。同年4月同志社グリーンクラブアメリカ演奏旅行に学生指揮者として参加後、Wayne State Univ.の音楽部指揮科に入学。その間、Student Assistantとして同校の合唱団の指揮やDetroit Symphony傘下のDetroit Youth SymphonyのAssistant Conductorとして研鑽をつむ。昭和52年帰国後、関西の多くの合唱団の指揮にあたっている。第74回定期演奏会より同志社グリーンクラブ指揮者に就任。また同志社グリーンクラブの'79年中国演奏旅行、今年のヨーロッパ演奏旅行に同行。



学生指揮者  
須藤 彰治

1961年、大阪に生まれる。同志社香里高校出身。中学時代より始まった彼の合唱生活も今年で10年目を迎えるようとしている。今夏行われた同志社グリーンクラブ欧州演奏旅行にも学生指揮者として参加。ヨーロッパ各地での演奏を通して、また一回り音楽的に成長したようである。大阪商人の息子だけあって、練習における彼のねちっこさは関西でも名高い。また指揮だけでなく文字までも陽ちゃん先生そっくりの彼は陽ちゃん二世と騒がれている今日このごろである。(またまた…) 彼にと



ヴォイストレーナー  
大久保昭男

昭和28年、東京芸術大学声楽科を卒業。矢田部勁吉氏に師事された。近衛秀磨指揮、



オルガニスト  
大代 恵

エリザベト音楽大学卒業。同志社女子高校オルガニストを経て、1976年西ドイツ留学。国立ザーランドティッシュ音楽大学入学、'80年演奏家資格国家試験に合格し、卒業。帰国後、京都、広島を中心として演奏活動を続けている。ピアノを土肥みゆき、オルガンをレベルタニョリオ、A.ルイ諸氏に師事。現在、広島文教女子大学講師、流川教会オルガニスト。

っては、大学生活最後のステージとなる定演。本人より一言「どうせ僕だけ完全燃焼したらいんです。」

「自分に弱い同志社グリーン」  
今年の同志社グリーンの練習状況は、例年になく過密で、且つ過酷なものでありました。週3回の練習などは形ばかりで、原則として、週休は2日だけ、そしてそれも守られているのは前期、後期とも最初の1ヶ月間だけで、あとは全て週6回の練習であり、各々の練習時間は4時15分から8時15分迄、1日4時間の練習を重ねてきたのであります。ところがひどいもので、それだけの練習時間に飽き足らず、練習場所の事情が許されるならば、2時35分から練習を始めたことも何度かあるのです。それに加えて時間外パー練、個人オーディション、これはもう、学生生活はクラブ一色に塗り潰されていると言って殆んど間違いのない状況です。

では、これだけの練習は何のためにするのかと申しますと、もちろん演奏会を成功させるためなのですが、この点がどうも不明瞭に感じられることがしばしばあります。メンバーは誰も演奏会を大成の裡のうちに終らせたいと願っており、その打ち上げには馬鹿騒ぎをしたいと思います。しかし、その馬鹿騒ぎの裏には辛い練習があるということを時に忘れてしまいがちに

青山杉作演出によるオペラ「カルメン」のモラレス役でデビュー。山田耕作指揮、オペラ「黒船」、ドヴォルザークのオペラ「ルサルカ」などにも出演された。昭和34年にはドイツ・リート、日本歌曲による第1回リサイタルを開かれた。現在、昭和音楽短期大学教授、東京芸術大学講師。又、慶応ワグネル、上智、立教、関学、同志社の各グリーンクラブ、早稲田コール・フリーゲル、法政アカデミー等、大学のトップクラスの合唱団のヴォイストレーナーとして、関東、関西で広く活躍されている。

第79回定期演奏会にあたり、心よりおめでと申し上げます。暑い日も、寒い日も、雨の日も、風の日も、大切な時間をさいて音楽の厳しい練習を積み重ねて来たグリーンのみなさんは素晴らしい歌を唱ってくれることでしょう。

エリザベト音楽大学卒業。同志社女子高校オルガニストを経て、1976年西ドイツ留学。国立ザーランドティッシュ音楽大学入学、'80年演奏家資格国家試験に合格し、卒業。帰国後、京都、広島を中心として演奏活動を続けている。ピアノを土肥みゆき、オルガンをレベルタニョリオ、A.ルイ諸氏に師事。現在、広島文教女子大学講師、流川教会オルガニスト。

あこがれの同志社グリーンさんへ！  
同志社グリーンクラブと私のつながりは、もう何十年も昔からの様な気がします。私の父(第18代指揮者前窪一雄)がグリーンメンだった時から数えること……。まだ幼かった頃、昔の栄光館のステージの上に見たグリーン。ソワソワした期待に胸を踊らせながら、演奏会に通った同志社女

なるのです。結果、うまくいかなかった演奏会の後には、モヤモヤした後味の悪さだけが残り、お互いに口をついて出てくる言葉は自分の努力不足を棚に上げたものばかりです。ここに私は今の同志社グリーンの弱さがあると思うのです。騒ぐのも大いに結構、しかし、その裏にある練習での「自分の闘い」の辛さを忘れたくないのです。

1983年6月26日、この日は私にとって一生忘れることの出来ない日となりました。何としてでもの一念を胸に、春合宿から頑張り通してきた成果の発表の大舞台、「東西四連」の第2日目のステージでした。声も枯れんどばかり歌い切ったAgnus Dei。合同演奏を待つ皆の口からは声もなく、ただ涙だけが溢れていました。過酷で過酷で、過酷で、いやになって、それでもやって、遂に掴んだ自分の闘いの勝利でした。抱き合いました。泣きました。

その後、同志社グリーンは、ヨーロッパ演奏旅行に出かけ、各地で素晴らしい体験を積み帰国しました。夏合宿からは再び定演の為にスタートを切り頑張っていました。しかし、まだ自分に負けそうになる心が顔をのぞかせることがあります。しかし、今年の同志社グリーンにはどうやら底力があるような気がします。打ち上げて馬鹿騒ぎ出来ることを祈っているこの頃です。(10/28 記)

何度となく演奏されて来た曲であっても、その時々によって色々の演奏の変化が生まれます。それは指揮をする人、歌う人、そして歌う声の多くの表現の深さにあります。その生の演奏こそ本当の音なのです。昔のレコードを何度か聞くのとは違って、より新しい、ある貴いものが次々と加わって来ます。

本番の演奏というものは、必ずしも最高の出来でない時が多くあります。しかし、私は少々のはずは気にしません。コンクールとは少しわけが違うからです。クラブの練習の間に1度でも魂のこもった音楽を歌うことこそが非常に貴いことで、それがアマチュアの音楽する目的だと私は常に信じています。

今日、この定期演奏会に來ていただきましたたくさんの方々の御協力に報いるためにも、グリーンメンは魂のこもった音楽を心から歌ってくれる様、私は祈ります。

予部時代、なぜかあの頃のメンバーは、とってもハンサムに見えました。万国博のキリスト教館で、ガベルラのミサ曲を日下部先生の指揮で伴奏した大学時代。思い返してみると、私にとってグリーンは身近な様な遠い様な存在でした。

9日のある日、突然の健ちゃん(ごめんなさい!ちゃん付け)からの電話。緊張ど嬉しさと、そして不安が入り混じった様な気持。恐れおそくも福永先生の指揮で、しかも定期演奏会に……。でも初めての練習日、先生のお側でオルガンを弾きながら、いつの間にか不安は消え去り、素晴らしい音楽をお持ちの先生と御一緒できる嬉しさに変わりました。

長年のあこがれであった同志社グリーンの皆さんと、今宵この素敵なホールで共演できます事は、本当に幸せです。



河原町御池角のイタリアの味

喫茶・お食事  
レストラン  
**ピアンカ**

京都ホテル南館2階

コーヒーと、パスタの  
ピアンカが河原町通り  
を眼下に、リフレッシュ  
オープンしました。

喫茶も兼ねて営業いたし  
ておりますのでお気軽に  
ご利用ください。

営業時間  
7:00a.m.~12:00midnight



- メニューの一例
- スパゲッティバジリコ ..... ¥ 700
  - スパゲッティボンゴレ ..... ¥ 900
  - カッペリーニスピナーチ ..... ¥ 900
  - ラザーニャグラタン  
ポロネーゼ ..... ¥1,000
  - スパゲッティ  
ジャボネーゼ ..... ¥ 900
  - ピッツァパイ  
ピアンカ特製 ..... ¥ 700
  - エスプレッソコーヒー  
..... ¥ 300
  - カプチーノコーヒー  
..... ¥ 400

創業明治21年

**京都ホテル**

京都市中京区河原町御池 TEL (075) 211-5111  
ご予約・お問い合わせ“ピアンカ” (内線2232)

**SAM** Records

録音全般・各種レコード製作

株式会社 **阪神ライフルレコーディング**

〒651 神戸市中央区上筒井通5-2-10  
TEL (078) 241-1899(代)

◎宴会コンパ大集合

予約電話 223-2111

貸切予約制

※カラオケコンパホール ..... 80名様まで

※本格派お座敷コンパ ..... 40名様まで

河原町で唯一の洋風コンパホールはひと味ちがったコンパを  
味わっていただけます。

エレクトーン・ステレオその他カラオケ設備完備  
大学コンパ、クラス会、各種会議・説明会その他  
にプライベートなディスコパーティー、レコード、  
映画鑑賞会など多目的にご利用下さい。

メニュー一例

- 瓶ビール(中) 350円
- 生ビール(大) 530円
- 松竹梅 一級 250円
- やきとり3本 200円から
- 将軍焼 350円
- むしどり 350円
- 揚げとうふ 300円
- からあげ 380円

内容で勝負  
鍋料理メニュー

- チャンコなべ(一品付) 2,000円
- 寄せなべ( ) 2,800円
- 水だき( ) 1,800円
- すきやき( ) 2,800円
- かにちり( ) 3,800円

(単品メニューは鳥将軍と同じ)

— エアポート1F —

鍋もの料理 **鳥将軍**  
やきとり

京・中京区河原町三条上ル一筋目東入ル  
エアポート1F 予約電話 223-2111(代)

※ウイスキー飲み放題お一人様500円でOK!

PS osaka photo

(株)大阪フォト サービス カンパニー

〒550 大阪市西区江之子島1丁目5-17  
TEL 06(443)7608(代表)





フェアウェルコンサート

フェアウェルコンサート

2月12日、大谷ホールにおいて第78回卒業生のためのフェアウェルコンサートが催された。文字通りこのコンサートは4年生が、4年間のグリーンライフの幕を閉じる最後のステージであり、また、下級生にとっても1年間の数々のグリーンの行事の最後のステージとなる。卒業生は4年間の長かったグリーンライフをこの時ふり返り、各々感傷にふける者、せいせいしたと感じる者など様々だろう。しかし、この時程、最上級生が大きく頼もしく見える時はない。と同時に、下級生は4年生の姿を見ながら、これからのグリーンライフは自分たちの手という責任感がより一層芽生えるのだ。そして、「自分もグリーンを4年間続けてあのフェアウェルコンサートのステージに立つんだ」という新たな決意を生まれることになる。

コンサートの後、部員は「さあ、これから」という顔をして各パートのコンパ会場へと向かう。パートごとのコンパで、パートの者との別れをした後、部員はいよいよ祝賀・平八に集まり始め、その数はみるみる増え続ける。4年生との最後の別れをし、最後の酒を飲み込み……。問題の平八のあと、延々とその宴は続き、それからどうなっていくのかは定かでない。

オリエンテーション

文学士ポアントン、そうです春です。新入生歓迎の季節です。オリエンテーションと呼ばれるこの期間に、我々グリーンクラブも多数の新入生を獲得すべく早くから対策を練り、結婚詐欺師も顔負けの甘い言葉でキャンパスにいる新入生に声をかけまくりました。その甲斐あって今年も個性的かつ有望な20数名のフレッシュメンを獲得でき、まずまずのスタートとなりました。新入生勧誘の方法も様々で、パリトン4回U氏のように「ちょっと兄ちゃん、グリーン入るか、指つめてもらうかはっきりしてもらおうか」と脅かす者、トップ3回M氏の様に「べつ入ってみ。めっちゃ感動する」と口をゆがめて力説する者などetc...

これらの際でオリエンテーション期間をイイことにエエめをした者も少なからずいました。日ごろ「ああしんど〜」を連発するステマネKもその一人。ちなみに彼は男に声をかける代わりに女専門に歓誘し、その甲斐あって純心無垢なフレッシュGALを獲得。(このスケベ!) 又、元外政三人組(T、O、O氏)も「大学内にはエエのんおれへんからちょっと外で勧誘して来るわ」と言い残したまま七条京阪まで綱を張りに行きました。でもどうして鼻血を出したんですか、豊〇さん?、どうしてマムシドリンクを飲んで行ったんですか、小〇さん? (by 外政N)

これらの際でオリエンテーション期間をイイことにエエめをした者も少なからずいました。日ごろ「ああしんど〜」を連発するステマネKもその一人。ちなみに彼は男に声をかける代わりに女専門に歓誘し、その甲斐あって純心無垢なフレッシュGALを獲得。(このスケベ!) 又、元外政三人組(T、O、O氏)も「大学内にはエエのんおれへんからちょっと外で勧誘して来るわ」と言い残したまま七条京阪まで綱を張りに行きました。でもどうして鼻血を出したんですか、豊〇さん?、どうしてマムシドリンクを飲んで行ったんですか、小〇さん? (by 外政N)

これらの際でオリエンテーション期間をイイことにエエめをした者も少なからずいました。日ごろ「ああしんど〜」を連発するステマネKもその一人。ちなみに彼は男に声をかける代わりに女専門に歓誘し、その甲斐あって純心無垢なフレッシュGALを獲得。(このスケベ!) 又、元外政三人組(T、O、O氏)も「大学内にはエエのんおれへんからちょっと外で勧誘して来るわ」と言い残したまま七条京阪まで綱を張りに行きました。でもどうして鼻血を出したんですか、豊〇さん?、どうしてマムシドリンクを飲んで行ったんですか、小〇さん? (by 外政N)

春合宿

毎年、春合宿を何処でやるかは、外政の頭を悩ませる事の1つです。今年は意慢マネージャーとして各方面からひんしゆくを買っている日比君の考えで、3月26日から南紀白浜で前期の第一歩を踏み出しました。すばらしいアラスカ海岸の太平洋を目の前に、我々は日夜練習にはげみましたが、とにかく明けても暮れても練習練習で、まわりを見れば海と山とホテル(ちゃんとした)と温泉(トルコではない)で、部員の欲求不満はあまりにたまり、遂に考え出した遊びが「まっつあん」という遊びでした。これは、誰か一人をみんなで押し倒し、下半身を脱がし、洗濯バサミ、スリッパ、歯ブラシ、ドライヤー等で危害を加えるという遊びです。(どや、おもろいやる)これが大流行し、調子にのりすぎた元外政O氏は、2回生の袋だたきとな



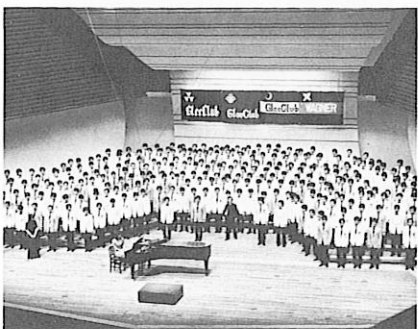
春合宿



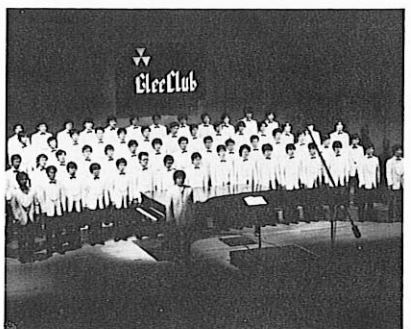
合唱祭



陽ちゃん先生ファミリーコンパ



東西四大学合唱演奏会



ヨーロッパ壮行演奏会

り、下宿まで追い出されるというはめになりました。

しかし、福永、高岡両先生をお迎えして中味の濃い練習で、曲の仕上がりもまずまず、いい合宿となったようです。

追伸：陽ちゃん先生、けん先生、練習をぬけ出してサファリーランドで合ハイするのはやめてください。

六連運動会

皆様御存知、吉例の六連運動会が五月晴れのもと大阪城公園グラウンドで盛大に行われました。今年は去年の汚名を晴らすべく我々同グリーは春合宿以来自主的に励み、又競技の人も慎重に行いました。しかし今年も順位は他を大きく引き離して第6位。(あのR大にも負けるとは...ショック)応援女子をして下さった甲南女子にも「まるで南海がヤクルト応援してるみたいやわ」と大いに愛想をつかれてしまいました。敗因としては、最後のスウェーデンリレーでアンの元六連委員O氏が客席に手を振りながら走る余裕を見せながら他団に次々に追い抜かれたことを挙げることができるでしょう。又部長レースで逆ホタルこと元幹事長M氏の予想通りの不調も災いしました。さらには酔っ払い競争で本当に地面にはいつかパリトンサPPL「日の丸」Yも足をひびりました。唯一の救いは騎馬戦で全騎生選、硬派同志社を堅持した事でしょう。

あれやこれやの運動会でしたが、本番である11月3日の演奏会では単独ステージ「わが歳月」を超名演し、去年に引き続き関西の雄・同志社の名を欲いままにしました。又合同演奏の方も今回は第十回記念と銘うち、我々の技術顧問であられる福永先生をお迎えして「レ・プレリュード」を初演するなど、私共グリーンメンにとって忘れ難い良いステージとなりました。(by NISHIO)

京都合唱祭

5月22日、我々同志社グリーンクラブにとって最近では数少なくなった京都合唱祭のステージ、京都合唱祭が盛大に催された。それだけに部員の士気も高まり予想を上回る演奏をし、京都合唱祭の満員の拍手をもらって感懐ひとしお。歌った曲は今夏の欧州演奏旅行のレパートリーのうちの2曲だったので、この日の合唱祭のことと合わせて思い出深い曲となったのである。また合同演奏では20回生の合唱祭にふさわしく、吉村、浅井、佐々木先生の指揮によって、舞台はみ出る程の大人気で華々しく歌われたのであった。

同関交歓演奏会・東西四大学合唱演奏会

グリーンクラブにとって前期のメイン・ステージに東西四大学合唱演奏会があります。これは東の早稲田グリーン・慶応ワグネル、西の同志社グリーン・関学グリーンといった四団体が構成される毎年関西、東京と舞台を一年ごとに変わって行われるアマチュア合唱界最大のイベントの一つです。今年は32回目を迎えて6月25日東京文化会館、26日五反田・簡易保険ホールに於て行われました。また隔年の同関交歓演奏会も4連前の6月20日大阪フェスティバルホールに於て行われました。

今回この二つの演奏会の為に取り込んだ曲目は同関・四連の福永陽一郎先生指揮のジョスカン・デ・プレ作曲「MISSA MATER PATRIS」、同関・学指揮ステージの多田武彦作曲「三崎のうた」でした。どのステージも満場の大拍手を頂き好評を博しましたが、その中でも我々の胸に焼きついている演奏は簡易保険ホールでのミサの超名演に尽きます。また合同演奏では同関・四連とも関屋先生指揮、ピアニストに大久保洋子先生をお迎えして、あの青春讃歌、湯山昭作曲の「ゆやけの歌」を演奏致しました。関屋先生の素敵な音楽性に加えて、気さくなお人柄に触れることが出来、グリーンメン一同感懐もひとしおの合同演奏でした。

以上のように大変意義あり実り多い演奏会でしたが、不馴れな東京では部員の珍事が後を絶ちませんでした。打ち上げ終了後、新宿・歌舞伎町界隈に繰り出し、いかがわしい店で楽しんだあげく店員とけんかして新宿署に駆け込み、金を取り戻した強者4回O氏、又打ち上げ2次会終了後、前後不覚となり早稲田の大隅重信像を女性と間違えて抱きついたらそのまま野宿してしまった冷凍マグロこと幹事長O氏などなど...ちなみに四回出身副指揮Tは今だに東京の「山手線」を「環状線」と思い込んでいる(そうな。(by 四連マネN)

同立交歓演奏会

今年の同志社グリーンにとっては、ハードスケジュールの中、3年ぶりに念願の同立交歓演奏会(立命とちがいつせ、立教や)が京都・大谷ホールでおこなわれました。大久保、久邇、高岡、保延諸先生方をお心かえして、あの狭い大谷ホールがいまにも爆発しそうな大観衆の中での熱演でした。合同では高岡先生と、グリーンメンにとっては初めての顔合せとなる、あの保延先生に振っていただき、グリーンメン一同感懐もひとしおでした。

うち上げパーティー後の2次会では、例のごとく鳥撃軍に結果し、立教のA氏のアンモニアをビールとまちがって飲み、小柳病院に2日間入院した同志社のS氏、わいせつ物陳列罪で五条警察署に出現を命じられた同志社T氏、K氏など事件も様々、まさに狂気の世界でありました。

また、今回のうち上げパーティーでは、残念ながら立教の女声部の方が見えなくなりました。理由は、主な理由としては、「同グリーの考えで、この日は〇〇だけ」とか、「どうして京都までやらないかなくちゃいけないの」と、いうように、たいへんおそれられている同志社グリーンでした。(なあ、大鳴) (by 外政I)

演奏旅行 P26・27・28参照

夏合宿

毎度、毎度の長野野尻湖で今年もまたまた夏合宿。9月に入っても暑い京都を離れ、朝夕は寒いくらいの野尻湖で定演に向っての第一歩を踏み出したわけ。前日からマネージャーの西尾が福永先生を酷使したため、福永先生御入院というハプニング、またマネージャー伊勢がスイスのチューリッヒ湖で高岡先生を沈め、行方不明になられたため、ひたすら練習に学生だけの合宿となりました。そのため幹事長O氏と外政I氏は、仕事ができなくなるという練習に出なければならないという非常事態となり、御蔭でパリトンは安泰でした。

今年も例年のように、どこかの女子大生もあまり遊びに来ておらず、我々の頭の中は、練習中も「京都に帰って早く〜」ただそれしか頭に浮かばないくらいフラストレーション状態となり、一部の室からは、ティッシュやトイレペーパーが乱れ飛び、それを元幹事長こと逆さくらび氏がやいややとそうじするという、女子大生のみならずが思わす発情してしまいうような光景も見られました。

合宿4日目には、恒例の弁天島ボートレースがおこなわれ、くしゃみ小僧のいるトップが優勝、毎年パトリックがドンクリア、ベースがビリー。優勝候補のパリトンは、ピアノ力を吹くく、手を動かす以外とえのない「日の丸」こと山内が出場したため、あえなく3位に終わりました。何はともあれ、1回生の純心さ、2回生の芸の無さ、3回生のアホさ、4回生の軟弱さが暴露された合宿でした。

P.S そやけど、野尻湖ハウスの奥さんは、Sexyやで〜。ネエ、岡田さん。(by Mitomu)

関西合唱フェスティバル

京都エコー、豊中混声、神戸中央、etc.の関西を、いや日本をリードする実力派合唱団が集まった関西フェス20。さすが合唱のメッカ、関西と感嘆符を連発しながら!! やってきた多くの合唱ファン。なんとプレミアム付きで飛びかい、あちこちでひっぱりダコだったといわれる入場券。「何やら場違いなコールライゼと同グリー」というシンフォニー名物バイオルガンのつばやき。だがそんなものには耳を貸さない同志社グリーン。彼らはもはやホームグラウンドと勝手に思い込んだシンフォニーホールに堂々と乗り込み、控室では、他団の迷惑も顧みず発声練習し、昼食では、宝塚ジュニアを前に品のなさを暴露し「コロ!Sec.2回生のK.おまえのこっちゃん」そして、やがて巡ってきたステージでは、それなりに地が上がる演奏を披露して、結局、客の冷たい拍手を背に逃げようとして大阪の雑踏の中へ消えていったのであった。

唯一の救い—某指揮者(グリーOB)の「そやね。ヨーロッパで天井へ向かって伸びる響きを身につけたね。」というお言葉!!

合コン・合ハイ

日頃男だけの世界に生きるグリーンメンにとって、明日への活力源、希望への一筋の光、それ



弁天島ボートレース



ヨーロッパ演奏旅行



夏合宿



合ハイ



関西六大学合唱演奏会



全同志社メサイア演奏会

が合ハイ・合コンなのです。今年も例年になく超ハードスケジュールとあって合ハイ合コンはそれ程多くはありませんでしたが、数々のエピソードが生まれました。

春の合コンですが、各時各地で魔がさし事件が頻発しました。最高のヒットは「逆さくらが誘い未遂事件」がありました。これは同グリーの元幹事長M氏が日頃の修道僧生活の反動により某女子大とのコンパで大フィーバーしたまじり良かったのですが、そのまじりたけな1回生ギャルと共に行方不明になってしまいました。またその同じコンパでは外政H氏が「またまた」「おいおい」「やめろ」の三語しかしゃべらず、嫌がるGALを家まで連れていったまじり良かったのですが、帰りの電車賃を持っていないのに気づかぬく神戸の新聞地で野宿してしまいました。

また秋の合ハイ・合コンでは日頃おとなし者の活躍が目立ちました。コンパの二次会で好み焼屋に入り、「豚玉4枚」とオーダーし、ギャル二人がトイレに行っている間に、(汚ない話ですんません)自分の口から出てきたもので、もう一つの豚玉を作ってしまった会計N。又10月の合コンでは「日の丸」Yがいきなり「君が代」を歌い、また帰りの阪急電車の中で(またまた汚い話ですんません)隣のおじさんのハゲ頭の上にはいてしまいました。

以上の様にあまり関係のない事ばかり書いてしまいましたが、今や我々を相手してくれる女子大は関西はあらか九州にさへも無いと言われて今日この頃だとき。(by Tsuyoshi)

お座敷

正式なステージ演奏以外に、私達は「お座敷」と呼ばれる数々のステージがあります。今年、クラブの財政が大ピンチとなり、また会計チーフ飯田氏が雲がくれたため、サボの河村、中田の命令で、たくさんお座敷を取り、まるでお座敷地獄でした。お座敷の種類としては、結婚式、御葬式、文化祭、クリスマスパーティー、会社のパーティー、テレビ・ラジオ出演、ディスコパーティー、ゲーバーでの演奏会等、多種多様にとんでいます。

Top4回生N氏などは、食事付きのお座敷以外は絶対に行かないというせこさ。また、元外政T氏は、高校の音楽鑑賞会後、女生徒にかまれ鼻血を出すという事件もおこりました。ちなみに副指揮のT氏は、日本語を喋れないため葬式以外のステージでは一度もデビューがありません。

本日御来場のみなさん、私達は日本中どこでも、黒ネコヤマトのトラックに乗ってまいりますので、よろしくお願ひします。(by Ise)

全同志社メサイア演奏会

一年間の同志社グリーンクラブのスケジュールの最後をしめくくるのが全同志社メサイア演奏会です。同時に、私達グリーンメンにとって唯一の混声ということで期待と不安(?)の入り混じった演奏会で、女声部をメサイア研究会、同志社メサイア女声合唱団、それに一般公募、管弦楽団が担当し、今年も、小泉ひろし先生をお迎えして行われます。また、ひとつの大学だけで、すべてアマチュアによって演奏される関西でも貴重なメサイアの1つに数えられ、毎年、「ハレルヤ」コーラスでは、聴衆が全員起立して、聴衆と演奏者がひとつになつて歌い上げられます。こうして演奏会が終わると外はクリスマス、グリーンメンの一年の活動は、すべて終わり、ふたたび、あらたな年が始まるのです。



安くて近いコンパ会場

あよす

京都市上京区寺町今出川上ル  
電話 231-5121・5122

# 3の宴会パック

## Aコース7,500円

(お一人様、税サ込)

●各種取合せオードブル ●スープ(温コンソメ) ●伊勢海老 ●貝柱のブロヴェンス風 ●ハムのクレオール風 ●ローストビーフ ●ローストチキンニース風 ●トマトサラダ・ポルトガル風 ●クラブハウス・サンドウィッチ ●お造り ●ホーレン草の胡麻和え ●鉄火巻き ●果物 ●飲物/ビール、ジュース、酒、ウイスキーの中から、いずれかお選びください。

## Bコース6,500円

(お一人様、税サ込)

●各種取合せオードブル ●スープ(温ポタージュ) ●サケの冷製レムラードソース ●小海老のまきご揚げ ●ローストビーフ ●タンバイ ●若鶏のバーベキュー ●ミートボール・ポルトガル風 ●マトンの韓国風 ●ローストポーク・アップルソース添 ●季節のサラダ ●細巻 ●果物 ●飲物/ビール、ジュース、酒、ウイスキーの中からいずれかお選びください。

## Cコース5,500円

(お一人様、税サ込)

●各種取合せオードブル ●スープ(温ポタージュ) ●キングサーモン冷製(北海道直送) ●小海老のビーフ巻き ●海老のテリヌ ●ミックスミートのバーベキュー ●マトンの祇園ホテル風 ●はる巻き ●フライドポーク・チャイニーズ ●スタッフドチキン ●季節のサラダ ●細巻 ●果物 ●飲物/ビール、ジュース、酒、ウイスキーの中からいずれかお選びください。

※料理の内容は季節により変更させていただく場合もあります

## うれしいグループサービス

- 20名様以上の団体には、幹事ご一名様と卓上花を無料サービスいたします。(A・B・Cコース)
- カラオケ無料サービス
- 卓上花無料サービス
- 30名様以上はオールド1本、50名様以上はオールド2本を無料サービスいたします。(A・B・Cコース)



「京のこころにふれる」  
**京都 祇園ホテル**  
祇園・八坂神社石段下

お問い合わせ・ご予約は ☎(075)551-2111  
内線107・108(宴会係)

ご宿泊パック(参考例)  
宴会パック(Cコース)+宿泊(3割引き)+朝食付  
ご一名様 12,000円(税サ込)より承ります。  
お気軽にお申込みください。

## 甲南大学グリークラブリサイタル 第31回定期演奏会

- 男声合唱組曲「わがふるき日のうた」 作詩 三好達治 作曲 多田武彦 指揮 松田博義
- 男声合唱とピアノのためのディアローグ「流水のうた」 作詩 阿部 保 作曲 湯山 昭 指揮 大森栄一  
ピアノ 岡安早苗
- 「愛の歌」「新・愛の歌」より 作曲 Johannes Brahms 編曲 福永陽一郎  
指揮 松田博義 ピアノ 岡安早苗・森本恵子
- MASS FOR THREE VOICES 作曲 William Byrd 指揮 前田幸市郎

1984年1月21日(土) 6:30P.M開演 神戸文化大ホール ¥700 <連絡先> 山田 博 ☎075(491)6353



## メンズ プレタポルテ FUSUMURA

☎543 大阪市天王寺区味原町15番18号 ☎(06)771-4656~7

ステージの出来が、映えるコート

紳士服  
イージーオーダー

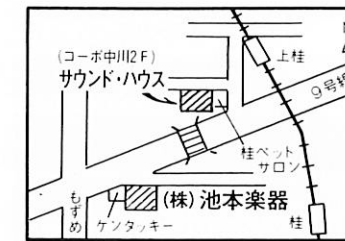
## 司屋(株)

大阪マーチャндаイズマート11階  
TEL 06-943-3100

## 総合音楽教室 SOUND HOUSE オープン!!

- ピアノ科 ■エレクトーン科 ■ギター科
- フルート科 ■クラリネット科 ■トランペット科
- ハープ科 ■声楽科 ■バイオリン科 ■サキソフォーン科
- その他特別講座 ■短期講師養成コースなど

<喫茶ルーム もございますのでご利用下さい>



音楽教室のお問い合わせ・お申し込みは **SOUND HOUSE** …391-0931 (西京区上桂三ノ宮町50-39コーポ中川2F)  
楽器・楽譜のお問い合わせは (株)池本楽器 …391-2111 (西京区桂千代原町55)

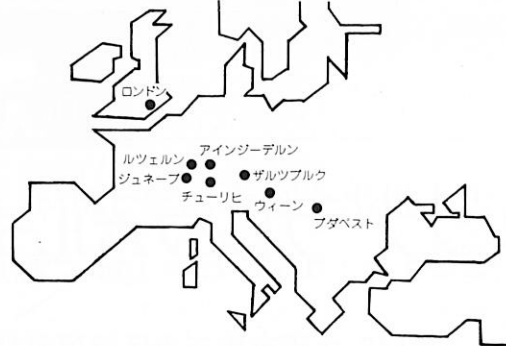


# EUROPEAN TOUR・1983

同志社グリーンクラブ・ヨーロッパ演奏旅行

### 〈スタッフ〉

- 団長 遠藤 彰
- 副団長 諸江 修
- 指揮者 福永陽一郎・富岡 健・須藤彰治
- ピアニスト 山本優子
- 添乗員 近藤直美(テス・トラベルコンサルタント)
- 写真員 中倉 仁(大阪フォト・サービスカンパニー)
- 企画 仲 貴司・長谷川恵一
- パンフレット 山中 光
- 会計 内野 直樹
- 記録 峰山琢磨・梶原昌彦



### 〈ヨーロッパ演奏曲目〉

#### 〈宗教音楽〉

- Missa Mater Patris(Josquin des Prez作曲)
- Ave Verum Corpus
- Salve Regina
- Locus Iste-Graduale- Alleluia

#### 〈ドイツ男声合唱作品集〉

- Die Nacht
- O Täler weit, o Höhen
- In Stiller Nacht

#### 〈コダーイ男声合唱曲集〉

- Fölszálott a páva
- Isten Csodája

#### 〈日本の現代曲〉

- 合唱のためのコンポジションⅢ
- 男声合唱とピアノのための「ゆうやけの歌」
- さくら散る(男声合唱組曲「草野心平の詩から」より)

#### 〈日本民謡〉

- おてもやん(熊本県民謡)
- 音戸の舟唄(広島県民謡)
- 斎太郎節(宮城県民謡)

#### 〈アンコール曲〉

- 夕やけ小やけ
- 砂山
- 主よ、人の望みの喜びよ
- トリッチ・トラッチ・ポルカ

## EUROPEAN DIALY

### ★7月19日 大阪国際空港出発

ついにやってまいりました。ヨーロッパ演奏旅行！前日まで前期試験に追われ、とにかく楽譜と3週間分の下着を詰め込み、夢と希望と、はたして無事帰国出来るのだろうかという不安を胸に私たちは飛び立ちました。3週間日本の地を離れたとあって、大阪空港には約4千人の合唱関係者が集まり、その中でも女子大生は2千人を越すという盛況ぶり、さすが同志社グリーン！また、たれ幕もさかり、個人的な名前もいろいろ出てきましたが、その中に「中小路、帰ってくるな」という、みんなが心に思っていることを、ズバっとついたものもありました。この大応援団の陰で出発までの残り少ない時間を、せっせと個人的マネージに費やすものもちらばら。(なァ大鳴、リムジンバスの中で〇〇するか？なァ西尾、柱の陰で何してんねん。こらこら森、朝から2人で十三行くな！)ともかく飛行機は飛び立ち、成田で乗り換え、アンカレッジ空港を経由してロンドン・ヒースロー空港へ。ここで約5時間、ロンドン市内を見学した後、ウィーン空港へ、そしてチューリッヒ空港へ到着。約20時間の長旅でした。(つかれたで〜)今まで、時差があるということを知らなかったTOP3年、河村氏は着くとこ着くとこ朝なのでしきりに首をかしげ、歯をみがき「やっぱり旅行していると3日間なんてすぐ過ぎるなァ」と一人つぶやいたのでした。



ロンドン市内にて



クロイスター教会前にて

### ★7月21日 アインジーデルン・クロイスター教会でのコンサート

ヨーロッパ演奏旅行第1弾のコンサートは7月21日スイス・アインジーデルンのクロイスター教会という所で行われました。この教会は500年程前に建てられたカトリックの建物で我々は生まれて初めてヨーロッパの本格的な教会の中に入り、その西洋の伝統の重みと荘厳な造りに驚嘆の声を上げるばかり。

そして演奏が始まると、我々にとって決して今まで日本では経験した事の無い、正に異次元の響きとでも言うべき残響(5〜7秒)に思わず度胆を抜かれてしまいました。曲目の方はジョスカンのミサ、宗教曲集、日本の歌曲と続き、まるで夢を見ているような何が何やらわからぬまま歌いましたが、終曲の「さくら散る」の最後のフレーズがまいおちる月の凄いとしか言い様のない残響は今も私共の胸の中で鳴り響いています。なにはともあれグリーンメンにとってカルチャー・ショックを与えてくれ、忘れ得ぬ思い出となった素晴らしい演奏会でした。

### ★7月23日 リヒターズビル・プロテスタント教会でコンサート

大自然のホッポユーブリックからバスでリヒターズビルへ。そこで地元の人々の熱狂的いや

いや近藤真彦も顔負けの大歓迎をうけ、サインもほどほどにして、夜7時からコンサートを、おこないました。ミサ、宗教曲、ドイツ合唱曲集、日本民謡etc.を唱い、またグリーンメンもヨーロッパの地に慣れ始め、内容的にも素晴らしい演奏会となりました。

終了後、初のhome stayとなり、2、3人ずつ教会関係の方々の御家庭にお世話になりました。中でも、一人きりでhome stayすることになった学生指揮者の須藤氏は、さすがに不安の顔はかくせず、しきりに下を向きうなだれて「試験に出る英単語」を何度も読み返し、それにこりず、陽ちゃん先生から「赤尾の豆单」を借りて、鋒山氏に必死に発音を習っていました。このあたりから、語学に弱い者は、しきりにうつ病になっていったようです。

### ★7月24〜26日 ハンガリーにて

24日、チューリッヒでショッピングをして、夜行列車ウィンナーワルツ号でハンガリーはブタペストに向いました。各室6人ずつで、たいへん楽しい旅となったのですが、翌日ハンガリーの国境に近づくあたりから景色は一変して小さな小屋と果てなく続く麦畑、目に入って来る色はすべて黒系統、また機関銃をもった恐いおっちゃんが「パスポートプリース」といって、室に入って来て手を上げさすので、おしっこをちびつてしまいました(著者)はびびってしまいました。



英雄広場(ハンガリー)

重苦しい雰囲気の中、ブタペストに到着。その夜、ヴィガドでコンサート。しかしリハーサルの時から、その雰囲気は急変。さすが合唱のメッカ、ハンガリー。コダーイの生誕地。熱狂的な観客。昨年からグリーンメンの憧れであった「ハンガリーでコダーイの曲を歌う」ということを実現させたのでした。またハンガリー合唱コンクールで第1位となった混声合唱団の賛助出演(めっちゃうまいで、1回聞いてみよ森)もあって盛り上がり、演奏会終了後は、ヒルトンホテルでハンガリーの合唱関係者のみさんとパーティーを持ち、夜おそくまで歌え飲みやの大パーティーとなりました。(ちなみに、それから私は、健先生とディスコに行き飲みまくり、朝目がさめると健先生といっしょに同じベッドで寝てました。But何もなかったですよ。)

翌日ハンガリーで1日自由時間。バスで市内見学、ショッピング、またいろいろな事件が起きたようですが(ネエ、優子先生)スペースと映倫の関係上、これ以上書くことは出来ません。あしからず。

### ★7月27,28日 ウィーンにて

いよいよ演奏旅行も中盤戦をむかえ、家や彼女、友人にハガキを出す者、国際電話する者、また外人女性に相手にされず、日本の彼女のことを思い涙を流し、思わず手を動かす者?など、様々でした。

我々は今世紀最大の暑さといわれたヨーロッパの地で、ブタペストからバスで、オーストリアはウィーンに向いました。さすがウィーン、いまいぜ!ゼミがウィーンとなりました。ウソ〜やで〜。とにかく我々は、ウィーンの町並、教会また街角のいたるところから聞えてくる音楽に大感激。翌日、バスで市内観光、最っも印象的だったのは、やはり中央墓地へ行き、数々の大音楽家の墓まいりが出来たこと(ちなみに豊田氏は、ヴェートーベンのお墓に、線香とピーバリーをそなえた)お昼は市庁舎に招待され昼食をとりました。

夜はアウエルスベルク宮殿で最大のコンサート。デュスカンデブレのミサ、宗教曲集を歌った時は、涙を流しつつまでも両手をあわせておられた印象的なおばあさん。日本民謡、コンポジションⅢの時の大拍手、何曲ものアンコールでステージと客席が国境を越えて一体となり、最高の演奏会となりました。

また、この演奏会に、全日本合唱連盟理事長の石井敬先生、立教大学グリーンクラブの皆川達夫先生がお見えになり、グリーンメン一同感激もひとしおでした。終了後〇〇〇〇〇〇へ行き、ワインで打ち上げパーティー。ところかまわず歌いまくり踊りまくり飲みまくり、すばらしい一夜となりました。アァよかった。よかった。



アウエルスベルク宮殿

### ★8月1日 スイス独立記念行事に参加

7月30日〜8月2日はこの演奏旅行2度目の期待と不安のホームステイ期間。30日リシュリコン到着後、教会での“里親”との緊張の対面。各家庭に2〜5名のグリーンメンがお世話になったのですが、皆ホストファミリーとの言葉では言い現せない(言葉が喋れない)心暖まる交流があったのです。しかしその中で1つのグループだけは、聞くも涙、語るも涙の物語があったのです。何と彼らのホストファミリーは修道院だったのです。街へ出て夜8時ごろ宿舎に帰ろうと思っても誰れも迎えに来て呉れる者もなく、彼ら一行5人は普通なら10分で帰れる山道を4時間もさまよひ続けました。それは正にあの「八甲田山死の彷徨」の世界でした。又そこで食事のお世話などをして下さるおばあさんに「We want something to drink」と言ったところ「OK! Let's go」と快い返事を頂き、当然ジュース位はただで飲ませてもらえと思い、ついて行くこと地下室の自動販売機の前でした。

“Put coin!”と言われた時、外政Nと演旅マネNは真剣に男泣きしたそうです。さてこのようなホームステイ期間にも2つの演奏会がありました。31日には教会でのミサコンサートを行ない、ジョスカンのミサ、パッサリのOld Masterなどを歌いました。そして翌日の1日はスイス独立記念日にあたり、各地で盛大な催し物があり、我々同志社グリーンもリシュリコン市内のパーク・グリュエネンという大広場でこの行事に参加し、JALのハッピー姿で日本民謡、ヨーロッパ民謡等を演奏致しました。数百人の聴衆の前に私共の音楽を披露でき、スイスの人達の心このもった熱い拍手を頂いた非常に感動的な1日となりました。P.S.リシュリコン市民の皆様、ダンケシェーン! We love Switzerland!



リシュリコンにて

### ★8月3日 ユングフラウ登山

前日、ヨーロッパ最後の演奏を、ルツェルン(スイス)のザンクトルーカス教会で無事終了なのですが、その夜、屋根裏みたいな所に泊められ大激怒したグリーンメンでしたが、この日は朝から登山電車で、ユングフラウに登りました。日本だけでは飽き足らず、ヨーロッパへ行っても日本語が通じないことをいいことに、通行人にひわいな言葉をはきちらした元外政チーフ3人とその他一匹(末吉)のお陰で悪天候。すばらしいながめはさすが、一面白で寒い寒い。空気は薄いわ、耳は痛いわ、鼻はつままるわ、悲惨な登山となりました。

あまりの寒さのため、毛糸の帽子からセーター、手ぶくろ、くつ下、また毛糸のパンツまで買って着込んで登られた福永先生は、途中、駅員にエスキモー人とまちがえられ、もう少しでロシア軍の捕虜となり、シベリア鉄道にのせられるところでした。また、最近人気物の逆ホテルこと諸江氏のおでこも、この日はけがりがなく、凍っていました。とにかく寒くて寒くて何も見えないユングフラウでした。



グリンデルヴァルトにて

### ★8月5,6日 ジュネーブ⇒大阪



ジュネーブ空港にて

楽しかった演奏旅行も終わりに近づき、最後に訪れた街が国際都市ジュネーブ。8月4日午後宿舎につき、その後フリータイム。カルビンの宗教改革記念像など市内観光する者、ショッピングを楽しむ者、日本では売っていない本を買って帰る者など皆々最後のヨーロッパを満喫していた様だった。ここでもひょうきんな農協青年・外政Iが大活躍。レマン湖の遊覧船に乗り込んで涼を楽しんだのは良かったが、いつもの癖で「ヒ〜」と言ってフランス人らしき中年女性の背中を押し湖へ落としてしまいました。必死で船にはい上がってきたその御婦人は大激怒。それにも彼は悪びれず、「何怒ったはるんですか?メルシー」などと訳のわからぬ事を連発して何とか殺人未遂罪を免がれました。(メダタシ、メダタシ)またそのヨーロッパ最後の夜はおもしろい所に泊まりました。地下三階、厚さ30cmの鉄扉三枚というその建物、我々は人体実験されるのではないかと恐怖感にかられ、真剣に「生きて帰れないのでは?」と遺言を書く者が続出(ウソやで〜)。

しかしそんな心配も杞憂に終わり翌日5日朝、我々一行は元気にジュネーブ空港へ向かい、望郷の念と未練の情が入り混った複雑な心境で飛行機に乗り込みました。Good-bye, Europe!



# ヨーロッパ秘案真& はなしのくずかご



①あア、たってきた、  
たってきた？



②もういや！何が牛のおもり  
せなあかんの！by優子先生



④ちなみに私は  
顔面神経痛です。



③このヨーロッパで僕は優子先生の愛の奴隷となりました。  
by豊田



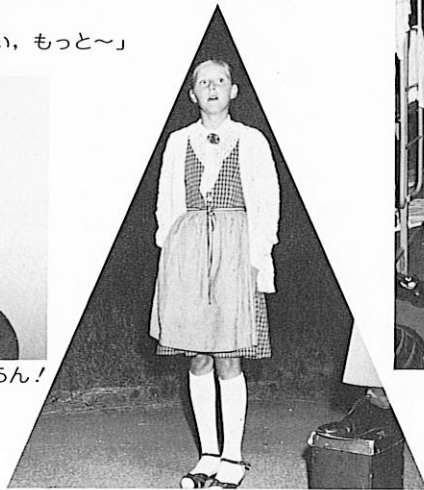
⑤アルプスの聖少年達。



⑥A「どや気持ちええやろ」B「はい、もっと〜」



⑧わしゃ、四国人やけん、な〜んもわからん！



⑨健せんせ〜い。10年まっけてください。byモニカ



⑦さあ、ベッドに入って、  
始めよか……

- ある日のランチBOXのメニュー。パン1こ、ハム2枚、トマト1こ、バナナ1本、生のピーマン1こ。by森ま、めちやまずいて〜by西山
- チューリッヒ駅は、たいへんこわい駅です。だってホモが目を光らせているんですもの。この世界にはお得意のグリーンメンも、さすがにたじろぐ便所の中まで追いつめられた2年竹本氏。また、さそいがかからず、自分で声をかけた2年内田氏など、たいへんこわい世界でした。by西山
- 大嶋よ、ヒデーで水飲むなよ。by伊勢(ヒルトンホテルにて)
- 優子先生、歩けなくなるまで飲まないで下さい。by伊勢
- 福永先生、ブルックナーの祭はわかりましたから、トイレでこけなさい。by高橋
- 健先生、ところかまわずマッサージしろといわいてください。ほくは、あんま屋と違います。by伊勢
- 優子先生、1回ぐらいはいっしょにお風呂に入ってくださいよ。by岡田
- おい伊勢、天下のヒルトンホテルを、パンツ1枚で走りまくったんはお前だけや。by河村
- 尚、ヨーロッパにおける部員どうしのお金の貸し借りは、帰国後の徳政令により日本では無効となりましたので、みなさんあしからず。by西尾・伊勢
- 大嶋、中小路、キタないハラ出してチューリッヒ湖で泳ぐな！おまえらがいたら、狭くてみんなめいわくや！ドッポ〜 by中西B
- 豊田さん、home stayのお家まで行って、ドイツのシュペーパーを使わないでください。by元外政サブ
- 健先生、チューリッヒ湖でトップレスの女性を、追い回して発情しないでください。by六連マネージャー同
- 大嶋よ、君は大きな顔をしてるね。by石井敬
- スイス独立記念日に「日章旗」をあげんなよ山内 by山中その他たくさん
- 「Excuse me.」あ〜、スイスの皇居はどこですか」 by内田
- 山岡よ、まいごになって、FBIに救助されるなよ。by四回生一同より
- 佐々木、ウィーンで女を買うな！ by西尾
- おい和田、ワイン代…… byけちの久保田

19th

# Messiah

指揮 小泉ひろし  
ソプラノ 中村千恵子 アルト 井上 和世  
テノール 布笠 秀助 バス 高橋 大海  
チェンバロ 有賀のゆり オルガン 鷺淵 紹子  
合唱 同志社メサイア女声合唱団  
同志社女子大学メサイア研究会  
同志社グリークラブ 他  
管弦楽 同志社交響楽団

1983年12月20日(火) 京都会館第1ホール 開演18:00 全席自由 ¥1,300

## 祝 第79回定期演奏会

「舞台写真の飯島」をご存知ですか  
18年の実績をぜひ一度ご覧下さい

〈大阪支社〉  
〒553  
大阪市福島区福島6-18-1-501  
TEL. 06-453-0421



海外交流のお問合せは  
〈テスカルチャーセンター〉  
TEL. 03-496-7516

# 赤垣屋

# 酒

川端二条下ル ☎ 771-3602  
751-1416

各地の国民休暇村をはじめ全国の優良施設を網羅

## 京都の合宿フロント

(全国の宿泊・国鉄、私鉄バス・  
フェリー・スキー・スポーツ施設)

豊かな学園生活のアドバイザー・フリーウェイ

FREE WAY デスク  
フリーウェイ 京都府知事登録第6号  
日本教育旅行

〒600 京都市下京区烏丸七条上ル一筋目東入ル  
100m

●お申込みお問い合わせは ☎075 (351) 0405



Table with 3 columns: Date, Event Name, and Venue. It lists various events from 1982 to 1984, including regular performances, graduation concerts, and university activities.

Table listing staff members and their roles. Roles include: 顧問 (Advisor), 技術顧問 (Technical Advisor), 指揮者 (Conductor), 幹事 (Staff), 長政 (President), 大嶋 (Secretary), 誠司 (Secretary), 学生指揮者 (Student Conductor), 須藤 (Student Conductor), 高橋 (Student Conductor), 杉本 (Student Conductor), 山岡 (Student Conductor), 片岡 (Student Conductor).

Table listing vocalists by voice type: Top Tenor and Second Tenor. Each entry includes the name, voice type, and university/department.

Table listing vocalists by voice type: Baritone and Bass. Each entry includes the name, voice type, and university/department.

同志社グリークラブ 第79回卒業生のためのフェアウェルコンサート (賛助出演) 同志社クローバークラブ 1984年2月18日(土) 5:30PM 開演 同志社大学学生会館ホール (入場無料)



# 編集後記



伊勢 西尾 日比

とにかく超ハードな1年でありました。ふりかえってみれば、3月の春合宿、同関、四連、ヨーロッパを目指して、スタート。マネージ系、技術系、またグリーンメン1人1人も苦しい日々が続いたような気がします。それでもその苦勞が報われたのか、どのステージも大成功。

ヨーロッパ帰国後、我々は定演に向ってまた新たなスタートをきったのでした。前期同様、通常練習の他に強化練習、お座敷が入り、来る日も来る日もグリーンメンの毎日。だれもが必死にグリーンにしがみついていたような気がします。しかし、時々そのしがみつきのプツリと切れた時、クラブ内には陰鬱なムードが漂い、毎日毎日の練習が、そしてグリーンメンの私生活が死んだ魚の目のように過ぎて行くこともありました。夜おそくまで話し合う技術系、最後はド根性で走り回ったマネージャー。でも、この一年間の様々な出来事を通して、同志社グリーンは、またグリーンメン1人1人は一歩成長したような気がしてなりません。

本日のステージ。みんなが陰でコツコツと積み上げて来た努力が報われ、きっとすばらしい演奏会となることを信じております。来年度は創立80周年を迎え、また新たな1ページを開こうとしております。これから何卒、同志社グリーンを宜しくお願い致します。

最後になりましたが、パンフレット制作にあたり、御忙しい中、原稿をお寄せ下さいました諸先生方、快く広告の掲載を承諾下さいました広告主のみなさま、そして例年以上にたいへん御迷惑をおかけしました中央印刷の根津社長、無理なレイアウトを快よくお引き受け下さった江田さん、その他関係者のみなさん、そしてOB諸氏にこの場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。今後とも宜しく御指導、お願い申し上げます。

ひとつの製品を完成させるにあたり、各分野の専門スタッフが、全力を傾注しています。正確に、スピーディに、しかも、密度の高いものを目指し、ひとつの輪は、今日も明日もたゆまず動きつづけます。



## いま、何かをお求めなら

合唱団の良きアドバイザー。



印刷を通じて気さくなおつきあい



本社・企画室 ☎542 大阪市南区谷町6丁目6番7号 TEL. 06(763)2632(代)  
事務所・工場 ☎593 堺市鳳東町5丁487-56 TEL.0722(73)1151(代)

# 素晴らしい音とハーモニーの 東芝合唱シリーズ

## 現代合唱曲シリーズ

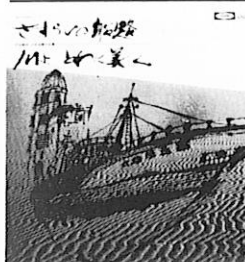
各¥2,300

### 混声合唱組曲「白い木馬」/「深き淵より」



(萩原英彦作品集) ●TA-72082  
混声合唱組曲「白い木馬」：一陣の強い風がふどりの枯葉を吹きとばし/ゆきんこが遠い国から/折れたバラ/小さな詩(うた)。名も知らぬ異国の港町にて  
混声合唱組曲「深き淵より」：思い出になりきれない思い出/宵の音/夜ふけの珈琲(コーヒー)のかおり/いえすへのこうぎ/うたをうたってあげたい  
●指揮 福永陽一郎 ●合唱団 京都エコー ●副指揮 浅井敬重 ●ピアノ/久遠之宣

### 男声合唱のための組曲「さすらいの船路」/男声合唱組曲「川よとわに美しく」



(平吉毅洲・三枝成章作品集) ●TA-72083  
男声合唱のための組曲「さすらいの船路」：竜舟よやすらかに/さんざめく生命(いのち)/よみがえりの時はいつ  
男声合唱組曲「川よとわに美しく」：観音童子/永遠の川/荒廃に立ちて/静脈の川/川よとわに美しく  
●指揮 北村雄一 ●関西学院グリーンクラブ、立教大学グリーンクラブ ●ピアノ/久遠之宣 ●シンセサイザー/向谷実

### 合唱による風土記～「阿波」/合唱のためのコンポジション第三番



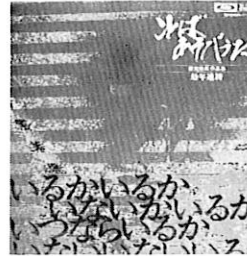
(三木稔・間宮芳生作品集) ●TA-72086  
合唱による風土記「阿波」：たいしめ(綱絳)/麦打ち/もちつき(餅搗)/水取り/たたら(踏鞴)  
合唱のためのコンポジション第三番：嘘/羯鼓(かっこ)/引き念佛  
●指揮 北村雄一 ●関西学院グリーンクラブ、早稲田大学グリーンクラブ

### 男声合唱組曲「中原中也の詩から」



(多田武彦作品集) ●TA-72091  
男声合唱組曲「中原中也の詩から」：北の海/汚れちまった悲しみに/間奏曲/雲雀/六月の雨/月の光  
男声合唱組曲「在りし日の歌」：米子/早春の風/閑寂/骨/また来ん春  
男声合唱組曲「冬の日の記憶」：冬の明け方/冬の日の記憶/冬の長門峠/更くる夜/南無グダ  
●指揮 北村雄一、福永陽一郎 ●立教大学グリーンクラブ、関西学院グリーンクラブ、同志社グリーンクラブ

### 「ことばあそびうた」/「幼年連唄」



(新実徳英作品集) ●TA-72092  
女声合唱組曲「ことばあそびうた」：やんま/だてて/いるか/かぞえうた  
男声合唱とピアノのための「ことばあそびうたII」：かっぱ/うたととこ/たそがれ/さる  
混声合唱組曲「幼年連唄」：花/不眠/樟れ/熱/喪失  
●指揮 福永陽一郎、北村雄一 ●大槻小学校合唱団、同志社グリーンクラブ、法政大学アカデミー合唱団 ●ピアノ/久遠之宣

### 「六つの子守歌」/「冬にむかって」



(池辺晋一郎作品集) ●TA-72093  
女声合唱組曲「六つの子守歌」：風の子守歌/空と海の子守歌/いつもの子守歌/思い出の子守歌/おさかなの子守歌/眠っちゃいけない子守歌  
混声合唱組曲「冬にむかって」：落ち葉の道/枯れ葉/樹氷/木枯しの夜/新しい年への願い  
●指揮 福永陽一郎 ●湘南コーレ・グリーン、藤沢男声合唱団、小田原男声合唱団 ●ピアノ/久遠之宣

### 東北地方のわらべうた・民謡による合唱曲



(小倉 朗作品集) ●TA-72100  
東北地方のわらべうたによる九つの無伴奏女声合唱曲：からす/子守唄/雪こんこん/てではこ/ほたるこい/狼こが三万/郵便配達/おわいやれ/べごこ三匹  
東北地方のわらべうたによる五つの無伴奏女声合唱曲：お正月ええもんだ/地藏さん/ねにゃもにゃ/こんこんさま/一匁の市助さん 東北地方の民謡による七つの男声合唱団：そんでこや/おどのもり/耳が三寸/あんづきまんなま/雀と雀/ホーハイ節/遊び唄  
●指揮 福永陽一郎 ●花巻女声合唱団、盛岡コメット混声合唱団

### アイヌのウポポ/日本民謡による男声合唱曲



(清水 脩作品集) ●TA-72101  
アイヌのウポポ：くじら祭り/イヨマンテ(熊祭り)/ピリカ ピリカ/日食月食に祈るうた/恋歌/輪舞  
日本民謡による男声合唱曲：八木節/大漁祝い/最上川舟唄/黒田節/そうらん節/牛追い唄/五つ木の子守唄  
●指揮 北村雄一 ●立教大学グリーンクラブ、摩訶義塾ワグネル・ソサエティ男声合唱団、関西学院グリーンクラブ

## グリーンクラブ・アルバム

- I ●TA-60050 ¥2,000  
からたちの花 中国地方の子守唄/この道/帰ろ帰ろ/あて床屋/青蛙/砂山/婆やお家/遙かな友に/水夫のセレナード/いざ起て戦人よ/他全22曲
- II ●TA-60051 ¥2,000  
キリエ・エレイゾン/主は我が牧者なり/主の祈り/菩提樹/野ばら(ウェルナー)/小夜曲/ローレイ/別れ/自由の歌/狩人の別れ/他全24曲
- III ●TA-60088 ¥2,000  
最上川舟唄 大島節/ソーラン節 大島子守唄/五つ木の子守唄/おてもやん/かぞえ唄/ちんちんちどり/出船/夕やけ小やけ/七つの子/海/他全17曲

- IV ●TA-60089 ¥2,000  
年の別れ/春を待つ/雨/アカシアの径/見上げてごらん夜の星を/涙くんさよなら/君といつまでも/コサックの子守唄/希望の島/森の歌声/他全18曲
- V ●TA-72074 ¥2,300  
フィンランディア/やまびこ/いとしのマドンナ/アヴェ・マリア/冬のセレナード/もみの木/鐘のキャロル/ロンドンリーの歌/他全15曲
- VI ●TA-72075 ¥2,300  
Swing Low Sweet Chariot/Rolling Home/斎藤太郎/島原の子守唄/音戸の舟唄/風/秋の日ぐれ/上を向いて歩こう/さらば青春/他全16曲

●指揮 福永陽一郎、北村雄一  
●合唱 関西学院グリーンクラブ、摩訶義塾ワグネル・ソサエティ男声合唱団、上智大学グリーンクラブ、同志社グリーンクラブ、立教大学グリーンクラブ、早稲田大学グリーンクラブ

▶お問い合わせは  
東芝EMI(株) 第三制作グループ1部 ☎03-587-9035 邦楽販売部 学芸販売グループ ☎03-587-9081

